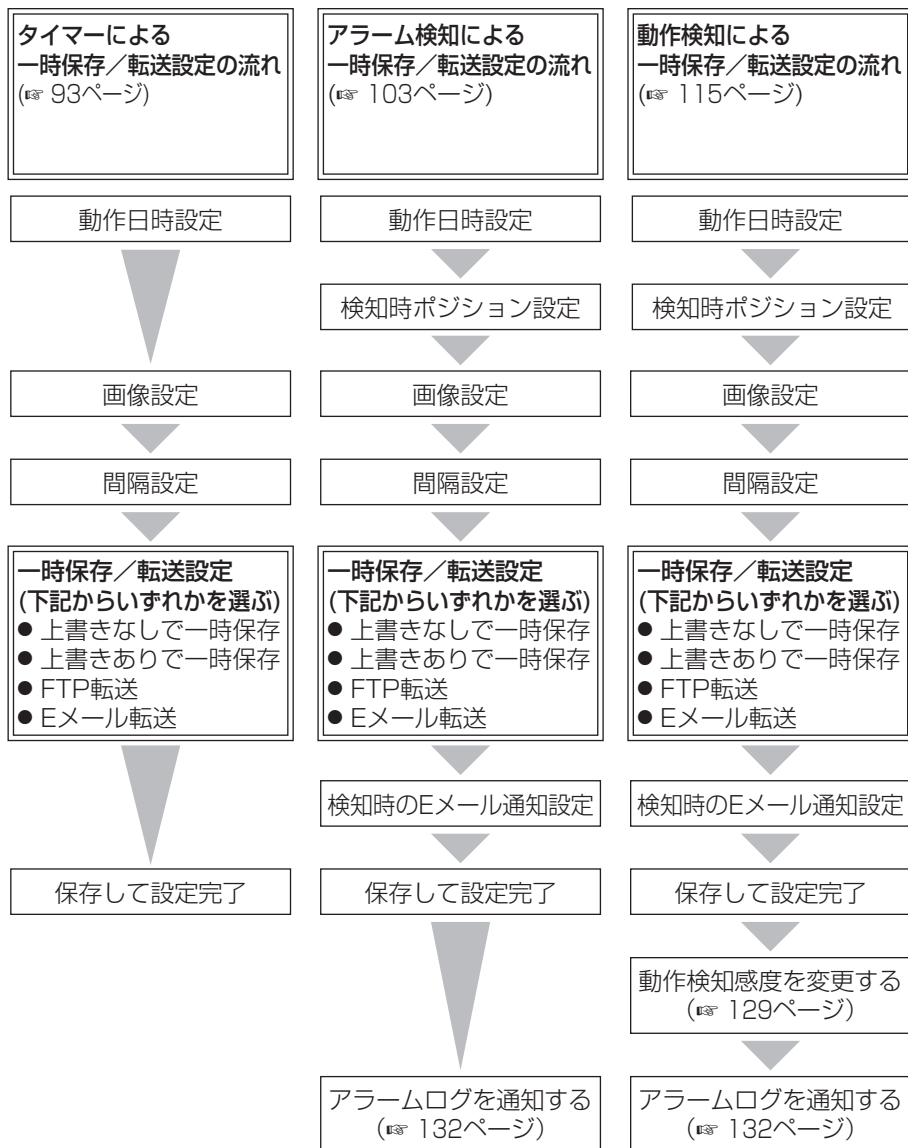


カメラ画像の一時保存／転送設定の流れ

本ページから126ページまでは、カメラ画像の一時保存／転送の設定手順、内容について記載しています。

設定の流れは、以下のようになります。実際の設定の際に参考にしてください。



タイマーでカメラ画像を一時保存または転送する

タイマーにより、カメラ画像を一時保存、FTP転送、Eメール転送するための条件を設定します。



SDメモリーカードに録画をしているときは、画像更新速度（フレームレート）が遅くなります。

- 1 設定画面で **動作条件** をクリックする
- 2 設定する動作条件の**No.**をクリックする

動作条件													
No.	状態	動作条件	日	月	火	水	木	金	土	日	動作時間	転送条件	通知
1	無効	タイマー	○	○	○	○	○	○	○	○	常時	一時保存(上書きなし)	-
2	無効	タイマー	○	○	○	○	○	○	○	○	常時	一時保存(上書きなし)	-
3	無効	タイマー	○	○	○	○	○	○	○	○	常時	一時保存(上書きなし)	-
4	無効	タイマー	○	○	○	○	○	○	○	○	常時	一時保存(上書きなし)	-
5	無効	タイマー	○	○	○	○	○	○	○	○	常時	一時保存(上書きなし)	-

- 3 「設定を有効にする」をチェックし、動作条件として「タイマー」を選び、**次へ>** をクリックする



保存 をクリックすると、SDメモリーカードに保存されている画像はすべて消去されます。

- 選択した動作条件で一時保存されている画像を消去するには、**一時保存されている画像を消去する。** をクリックします。
- **保存** をクリックすると、設定が保存され、一時保存されている画像が消去されます。
- **キャンセル** をクリックすると、入力した設定は保存されずに動作条件設定画面に戻ります。

タイマーでカメラ画像を一時保存または転送する

データ入力欄

設定項目	設定内容
設定を有効にする	●「設定を有効にする」にチェックを入れると、設定が有効になります。チェックをはずすと、無効になります。
動作条件	●「タイマー」を選ぶと、設定した時間にカメラ画像を一時保存／転送します。 ●「アラーム1」または「アラーム2」を選ぶと、設定した時間内にアラームを検知したときにカメラ画像を一時保存／転送します。 ●「動作検知」を選ぶと、設定した時間内に画像の動きを検知して、決められた条件でカメラ画像を一時保存／転送します。

4 動作日時を設定して **次へ>** をクリックする

動作日時設定

日	月	火	水	木	金	土	動作時間											
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="radio"/> 常時	<input type="radio"/> 午前	0	時	0	分	～	午後	11	時	59	分

< 戻る 次へ> キャンセル



動作日時は、カメラ内部の時計が使われます。タイマー機能を使う前に時計を合わせてください。(P. 75ページ)

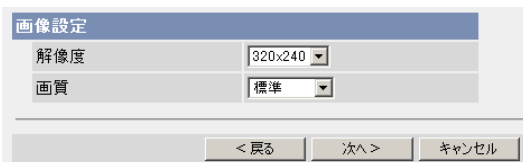
- **<戻る** をクリックすると、前の画面に戻ります。
- **キャンセル** をクリックすると、入力した設定は保存されずに動作条件設定画面に戻ります。

データ入力欄

設定項目	設定内容
曜日	●それぞれの曜日ボックスにチェックを入れると、その曜日が有効になります。チェックをはずすと、無効になります。
動作時間	●時間帯を指定しないときは「常時」にチェックを入れてください。指定するときは時間指定欄のボックスにチェックを入れて時間帯を設定してください。


タイマーでカメラ画像を一時保存または転送する

5 画像設定を行い **次へ>** をクリックする

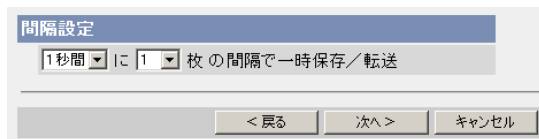



- **< 戻る** をクリックすると、前の画面に戻ります。
- **キャンセル** をクリックすると、入力した設定は保存されずに動作条件設定画面に戻ります。

データ入力欄

設定項目	設定内容
解像度	● 一時保存／転送を行うときの解像度を選びます。 (640×480ドット、320×240ドット(工場出荷値)、160×120ドット)
画質	● 画質優先： 画像の画質を優先します。(動きは遅くなります) 標準： 標準の画質です。(工場出荷値) 動き優先： 画像の動きを優先します。(画質は粗くなります) 携帯電話用： 携帯電話に転送するときにはこの設定にします。  画質として「携帯電話用」を選ぶときは、解像度 640×480ドットは設定できません。

6 一時保存／転送する間隔を設定して **次へ>** をクリックする



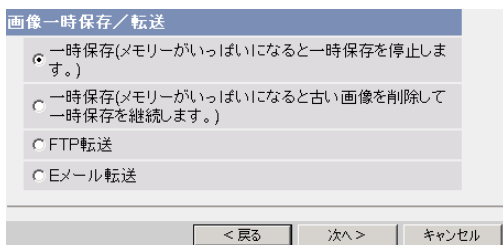
-  ネットワーク環境、被写体、アクセス数、SDメモリーカードへの録画機能、IPsec機能の影響で、指定した枚数分録画されない場合があります。SDメモリーカードへ録画するときは、設定した間隔で録画されないことがあります。その場合は、間隔を長く設定してください。
- SDメモリーカードへ録画するときは、1秒間に1枚の間隔設定を目安にしてください。
- **< 戻る** をクリックすると、前の画面に戻ります。
- **キャンセル** をクリックすると、入力した設定は保存されずに動作条件設定画面に戻ります。

タイマーでカメラ画像を一時保存または転送する

データ入力欄

設定項目	設定内容
間隔	● 一時保存／転送するときの間隔を選びます。 (1時間に1枚～1秒間に30枚)

7 一時保存／転送方法を選び **次へ>** をクリックする



FTP転送、Eメール転送を使用する場合は、ネットワークの設定画面でデフォルトゲートウェイ、DNSサーバーのIPアドレスが設定されているか確認してください。(P.45、50ページ)

- **<戻る** をクリックすると、前の画面に戻ります。
- **キャンセル** をクリックすると、入力した設定は保存されずに動作条件設定画面に戻ります。

データ入力欄

設定項目	設定内容
一時保存 (上書きなし)	● カメラ内部のメモリーがいっぱいになると一時保存を停止します。
一時保存 (上書きあり)	● カメラ内部のメモリーがいっぱいになると古い画像を削除して一時保存を継続します。
FTP転送	● FTPサーバーにカメラ画像を転送できます。 (P.97ページ)
Eメール転送	● Eメールを使ってカメラ画像を転送できます。 (P.99ページ)

タイマーでカメラ画像を一時保存または転送する

FTP転送を行う場合

「FTP転送」をチェックして、**次へ>** をクリックすると以下の画面が表示されます。

FTP転送	
サーバーのアドレスまたは ホスト名	<input type="text"/>
ポート番号 (標準21、1~65535)	<input type="text" value="21"/>
ログインID (半角0~63文字)	<input type="text"/>
パスワード (半角0~63文字)	<input type="text"/>
ログインタイミング	<input type="text" value="毎回"/>
ファイル名 (半角1~234文字)	<input type="text"/>
書込方法	<input type="text" value="上書きする"/>
データ転送方式	<input type="text" value="パッシブモード"/>

- **戻る** をクリックすると、前の画面に戻ります。
- **キャンセル** をクリックすると、入力した設定は保存されずに動作条件設定画面に戻ります。

タイマーでカメラ画像を一時保存または転送する

データ入力欄

設定項目	設定内容
サーバーのアドレスまたはホスト名※ ¹	<ul style="list-style-type: none">●サーバーのアドレスを設定するときは、192.168.0.253のように4つの数字(0~255)と3つのピリオドで設定してください。(ただし、"0.0.0.0"と"255.255.255.255"は使えません。ホスト名を設定するときは、1~255文字の半角英数字、記号を入力します。)●IPv6アドレスも設定できます。
ポート番号	<ul style="list-style-type: none">●設定は1~65535の範囲で行います。通常21番を設定します。
ログインID※ ²	<ul style="list-style-type: none">●サーバーにログインするときのIDを設定します。(プロバイダーから指定されている場合のみ)0~63文字の半角英数字、記号を入力します。
パスワード※ ²	<ul style="list-style-type: none">●サーバーにログインするときのパスワードを設定します。(プロバイダーから指定されている場合のみ)0~63文字の半角英数字、記号を入力します。
ログインタイミング	<ul style="list-style-type: none">●サーバーにログインする回数を設定します。「1回」に設定して転送間隔が1分以内の場合、FTPサーバーへのログインは1回しか行われないため、ログイン・ログアウトによる処理時間を削減できます。
ファイル名※ ¹	<ul style="list-style-type: none">●サーバーに保存するファイルの名前を設定します。1~234文字の半角英数字、記号を入力します。("/")を入力することで、サーバーに作成するディレクトリ名を含むこともできます。 例: NetworkCamera/image
書込方法	<ul style="list-style-type: none">●「上書きする」を選ぶとサーバー上にカメラ画像を上書き保存します。「ファイル名に日時を追加する」を選ぶとファイル名に日時が追加されるため、カメラ画像を上書きせずに保存できます。 例: image20050101093020500.jpg (ファイル名の数字は「2005年1月1日9時30分20秒500ミリ秒」を表しています。)
データ転送方式	<ul style="list-style-type: none">●通常は「パッシブモード」を選んでください。FTPが正常に動作しない場合は、「アクティブモード」を選び、動作を確認してください。

※¹ ただし、[スペース]、[']、[]、[&]、[<]、[>]は使えません。

※² ただし、["]は使えません。

タイマーでカメラ画像を一時保存または転送する

Eメール転送を行う場合

「Eメール転送」をチェックして、**次へ>** をクリックすると以下の画面が表示されます。

Eメール転送	
送信Eメール(SMTP)サーバーのアドレスまたはホスト名	<input type="text"/>
ポート番号 (標準25、1~65535)	<input type="text" value="25"/>
送信者 (Eメールアドレス)	<input type="text"/>
あて先1 (Eメールアドレス)	<input type="text"/>
あて先2 (Eメールアドレス)	<input type="text"/>
あて先3 (Eメールアドレス)	<input type="text"/>
件名 (半角44文字,全角22文字以内)	<input type="text"/>
本文 (半角63文字,全角31文字以内)	<input type="text"/>
認証方法	
<input checked="" type="radio"/> 認証なし	
<input type="radio"/> POP before SMTP 認証	
受信Eメール(POP3)サーバーのアドレスまたはホスト名	<input type="text"/>
ポート番号 (標準110、1~65535)	<input type="text" value="110"/>
ログインID (半角1~63文字)	<input type="text"/>
パスワード (半角0~63文字)	<input type="password"/>
<input type="radio"/> SMTP認証	
ログインID (半角1~63文字)	<input type="text"/>
パスワード (半角0~63文字)	<input type="password"/>
<input type="button" value="戻る"/> <input type="button" value="保存"/> <input type="button" value="キャンセル"/>	

- **戻る** をクリックすると、前の画面に戻ります。
- **キャンセル** をクリックすると、入力した設定は保存されずに動作条件設定画面に戻ります。



- Eメール転送はSMTP (Simple Mail Transfer Protocol) を使用しているメールサーバーでのみ正常に動作します。Hotmail®のようにウェブブラウザを介してアクセスする場合は使用できません。
- Eメール転送による件名には日時(24時間制)が自動的に追加されています。ファイル名は「image.jpg」です。
例) 件名を「カメラ」にしたとき
カメラ: 20050101093020500
(件名の数字は「2005年1月1日9時30分20秒500ミリ秒」を表しています。)

タイマーでカメラ画像を一時保存または転送する

データ入力欄

設定項目	設定内容
送信Eメール（SMTP）サーバーのアドレスまたはホスト名※ ¹	<ul style="list-style-type: none">● サーバーのアドレスを設定するときは、192.168.0.253のように4つの数字（0～255）と3つのピリオドで設定してください。（ただし、"0.0.0.0"と"255.255.255.255"は使えません。ホスト名を設定するときは、1～255文字の半角英数字、記号を入力します。）● IPv6アドレスも設定できます。
ポート番号	<ul style="list-style-type: none">● 設定は1～65535の範囲で行います。通常25番を設定します。
送信者（Eメールアドレス）※ ²	<ul style="list-style-type: none">● Eメール転送を行っている送信者のEメールアドレスを設定します。管理者のEメールアドレスの入力をおすすめします。
あて先1～3（Eメールアドレス）※ ²	<ul style="list-style-type: none">● Eメールを送信するあて先を3件まで設定できます。
件名※ ²	<ul style="list-style-type: none">● Eメールの件名を入力します。全角では、0～22文字のひらがな、カタカナ、漢字、英数字、記号が入力できます。半角では、0～44文字の英数字、記号のみ入力できます。
本文※ ²	<ul style="list-style-type: none">● Eメールの本文を入力します。全角では、0～31文字のひらがな、カタカナ、漢字、英数字、記号が入力できます。半角では、0～63文字の英数字、記号のみ入力できます。ただし、[改行]は使用できません。
認証方法	<p>Eメールを送信するときのユーザー認証について、認証なし、POP before SMTP認証、SMTP認証の3とおりが選べます。プロバイダーによっては、POPサーバーの認証が必要な場合があります。その場合は、POP before SMTP認証に設定してください。</p> <ul style="list-style-type: none">● 認証なし：Eメール送信時に、ユーザー認証を行いません。● POP before SMTP認証：Eメールを送信するSMTPサーバーには認証機能がないものがあります。そこでEメールを送信する前に、Eメールを受信するPOPサーバーの認証機能を利用し、認証後にEメールを送信します。（次ページへつづく）

タイマーでカメラ画像を一時保存または転送する

設定項目	設定内容
認証方法	<ul style="list-style-type: none">受信Eメール (POP3) サーバーのアドレスまたはホスト名*1 : サーバーのアドレスを設定するときは、192.168.0.253のように4つの数字 (0~255) と3つのピリオドで設定してください。(ただし、"0.0.0.0"と"255.255.255.255" は使えません。ホスト名を設定するときは、0~255文字の半角英数字、記号を入力します。) IPv6アドレスも設定できます。ポート番号 : 設定は1~65535の範囲で行います。通常110番を設定します。ログインID*2 : POP3サーバーにログインするときのIDを設定します。(プロバイダーから指定されている場合のみ) 1~63文字の半角英数字、記号を入力します。パスワード*2 : POP3サーバーにログインするときのパスワードを設定します。(プロバイダーから指定されている場合のみ) 0~63文字の半角英数字、記号を入力します。 <p>● SMTP認証 : Eメールを送信するSMTPサーバーで、ユーザーIDとパスワードによってユーザー認証を行います。プロバイダーがSMTP認証に対応していることが必要です。カメラが対応しているSMTP認証は、PLAIN方式とLOGIN方式です。</p> <ul style="list-style-type: none">ログインID*2 : SMTP認証をするときのIDを設定します。(プロバイダーから指定されている場合のみ) 1~63文字の半角英数字、記号を入力します。パスワード*2 : SMTP認証をするときのパスワードを設定します。(プロバイダーから指定されている場合のみ) 0~63文字の半角英数字、記号を入力します。

※1 ただし、[スペース]、[']、[]、[&]、[<]、[>]は使えません。

※2 ただし、["]は使えません。

タイマーでカメラ画像を一時保存または転送する

8 設定値を確認して **保存** をクリックする

- 新しく設定した内容が保存されます。
- 保存が完了すると、"保存が完了しました。"と表示されます。

9 **動作条件設定画面へ** をクリックする

- 動作条件設定画面が表示されます。



- **保存** をクリックすると、SDメモリーカードに保存されている画像はすべて消去されます。
- 内部メモリーに一時保存されている画像は、下記の操作を行っても、すべて消去されます。
 - ・電源を切る、または再起動する。
 - ・バージョンアップする。
 - ・工場出荷値に戻す。
 - ・「時計」の設定内容を保存する。

アラーム検知でカメラ画像を一時保存または転送する

アラームを検知したときにカメラ画像を一時保存、FTP転送、Eメール転送するための条件を設定します。



この機能を使うには、カメラにアラームを取り付ける必要があります。
([P.160](#) ページ)



SDメモリーカードに録画をしているときは、画像更新速度（フレームレート）が遅くなります。

1 設定画面で **動作条件** をクリックする

2 設定する動作条件のNo.をクリックする

動作条件													
No.	状態	動作条件	日	月	火	水	木	金	土	日	動作時間	転送条件	通知
1	無効	タイマー	○	○	○	○	○	○	○	○	常時	一時保存(上書きなし)	-
2	無効	タイマー	○	○	○	○	○	○	○	○	常時	一時保存(上書きなし)	-
3	無効	タイマー	○	○	○	○	○	○	○	○	常時	一時保存(上書きなし)	-
4	無効	タイマー	○	○	○	○	○	○	○	○	常時	一時保存(上書きなし)	-
5	無効	タイマー	○	○	○	○	○	○	○	○	常時	一時保存(上書きなし)	-

3 「設定を有効にする」にチェックし、動作条件として「アラーム1」または「アラーム2」を選び、検知する信号として「立上り（開放）」または「立下り（短絡）」を選び、**次へ** をクリックする

動作条件設定

設定を有効にする。

動作条件

検知する信号



保存 をクリックすると、SDメモリーカードに保存されている画像はすべて消去されます。

- 選択された動作条件で一時保存されている画像を消去するには、**一時保存されている画像を消去する。** をクリックします。
- **保存** をクリックすると、設定が保存されます。
- **キャンセル** をクリックすると、入力した設定は保存されずに動作条件設定画面に戻ります。

アラーム検知でカメラ画像を一時保存または転送する

データ入力欄

設定項目	設定内容
設定を有効にする	●「設定を有効にする」にチェックを入れると、設定が有効になります。チェックをはずすと、無効になります。
動作条件	●「タイマー」を選ぶと、設定した時間にカメラ画像を一時保存／転送します。 ●「アラーム1」または「アラーム2」を選ぶと、設定した時間内にアラームを検知したときにカメラ画像を一時保存／転送します。 ●「動作検知」を選ぶと、設定した時間内に画像の動きを検知して、決められた条件でカメラ画像を一時保存／転送します。
検知する信号	●I/Oコネクタに接続されたアラームの検知方法を選びます。 ●「立上り（開放）」または「立下り（短絡）」を選んでください。「立上り（開放）」はI/OコネクタのGピンと1番ピンまたは2番ピンを開放にした状態です。「立下り（短絡）」はI/OコネクタのGピンと1番ピンまたは2番ピンを短絡にした状態です。（☞ 161ページ）

4 動作日時を設定して **次へ>** をクリックする



動作日時は、カメラ内部の時計が使われます。タイマー機能を使う前に時計を合わせてください。（☞ 75ページ）

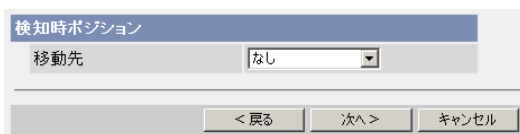
- **< 戻る** をクリックすると、前の画面に戻ります。
- **キャンセル** をクリックすると、入力した設定は保存されずに動作条件設定画面に戻ります。

アラーム検知でカメラ画像を一時保存または転送する

データ入力欄

設定項目	設定内容
曜日	●それぞれの曜日ボックスにチェックを入れると、その曜日が有効になります。チェックをはずすと、無効になります。
動作時間	●時間帯を指定しないときは「常時」にチェックを入れてください。指定するときは時間指定欄のボックスにチェックを入れて時間帯を設定してください。

5 検知時ポジションの移動先を選び **次へ>** をクリックする



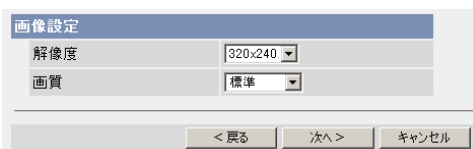
検知時ポジションを設定すると、一時保存／転送は、カメラの向きがホームポジション、アラーム1、アラーム2、登録されたプリセットポジション1～20へ移動したあとに開始されます。

- **< 戻る** をクリックすると、前の画面に戻ります。
- **キャンセル** をクリックすると、入力した設定は保存されずに動作条件設定画面に戻ります。

データ入力欄

設定項目	設定内容
移動先	●アラームを検知したときに、カメラの向きをホームポジション、アラーム1、アラーム2 (P.29ページ)、登録されたプリセットポジション1～20 (P.30ページ) に移動させるかどうかを設定します。

6 画像設定を行い **次へ>** をクリックする




- **< 戻る** をクリックすると、前の画面に戻ります。
- **キャンセル** をクリックすると、入力した設定は保存されずに動作条件設定画面に戻ります。

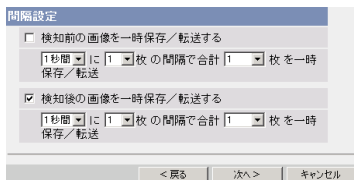


アラーム検知でカメラ画像を一時保存または転送する

データ入力欄

設定項目	設定内容
解像度	● 一時保存／転送するときの解像度を選びます。 (640×480ドット、320×240ドット(工場出荷値)、160×120ドット)
画質	● 画質優先： 画像の画質を優先します。(動きは遅くなります) 標準： 標準の画質です。(工場出荷値) 動き優先： 画像の動きを優先します。(画質は粗くなります) 携帯電話用： 携帯電話に転送するときにはこの設定にします。  画質として「携帯電話用」を選ぶときは、解像度640×480ドットは設定できません。

7 一時保存／転送する間隔を指定して **次へ>** をクリックする



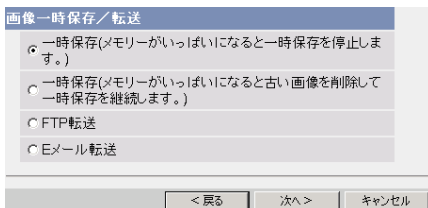
- ネットワーク環境、被写体、アクセス数、SDメモリーカードへの録画機能、IPsec機能の影響で、指定した枚数分録画されない場合があります。SDメモリーカードへ録画するときには、設定した間隔で録画されないことがあります。その場合は、間隔を長く設定してください。
 - SDメモリーカードへ録画するときには、1秒間に1枚の間隔設定を目安にしてください。
- **< 戻る** をクリックすると、前の画面に戻ります。
 - **キャンセル** をクリックすると、入力した設定は保存されずに動作条件設定画面に戻ります。

アラーム検知でカメラ画像を一時保存または転送する

データ入力欄

設定項目	設定内容
検知前の画像を一時保存／転送する	<ul style="list-style-type: none">● ボックスにチェックを入れると、設定が有効になります。アラームを検知したときの直前のカメラ画像を一時保存／転送します。● 一時保存／転送するときの「時間間隔」とそのときに転送する画像の「枚数」、転送する画像の「合計枚数」(☞ 190ページ)を指定します。「合計枚数」は、メモリーサイズ、解像度、画質、被写体によって変わるので、設定した枚数よりも少なくなる場合があります。
検知後の画像を一時保存／転送する	<ul style="list-style-type: none">● ボックスにチェックを入れると、設定が有効になります。アラームを検知したときの直後のカメラ画像を一時保存／転送します。● 一時保存／転送するときの「時間間隔」とそのときに転送する画像の「枚数」、転送する画像の「合計枚数」(☞ 190ページ)を指定します。「合計枚数」は、メモリーサイズ、解像度、画質、被写体によって変わるので、設定した枚数よりも少なくなる場合があります。

8 一時保存／転送する方法を指定して **次へ>** をクリックする



FTP転送、Eメール転送を使用する場合は、ネットワークの設定画面でデフォルトゲートウェイ、DNSサーバーのIPアドレスが設定されているか確認してください。(☞ 45、50ページ)

- **<戻る** をクリックすると、前の画面に戻ります。
- **キャンセル** をクリックすると、入力した設定は保存されずに動作条件設定画面に戻ります。

データ入力欄

設定項目	設定内容
一時保存 (上書きなし)	● カメラ内部のメモリーがいっぱいになると一時保存を停止します。
一時保存 (上書きあり)	● カメラ内部のメモリーがいっぱいになると古い画像を削除して一時保存を継続します。
FTP転送	● FTPサーバーにカメラ画像を転送できます。(☞ 108ページ)
Eメール転送	● Eメールを使ってカメラ画像を転送できます。(☞ 110ページ)

アラーム検知でカメラ画像を一時保存または転送する

FTP転送を行う場合

「FTP転送」をチェックして、**次へ>** をクリックすると以下の画面が表示されます。

FTP転送	
サーバーのアドレスまたは ホスト名	<input type="text"/>
ポート番号 (標準21、1～65535)	<input type="text" value="21"/>
ログインID (半角0～63文字)	<input type="text"/>
パスワード (半角0～63文字)	<input type="password"/>
ログインタイミング	<input type="text" value="毎回"/>
ファイル名 (半角1～234文字)	<input type="text"/>
書込方法	<input type="text" value="上書きする"/>
データ転送方式	<input type="text" value="パッシュモード"/>

- **戻る** をクリックすると、前の画面に戻ります。
- **キャンセル** をクリックすると、入力した設定は保存されずに動作条件設定画面に戻ります。

アラーム検知でカメラ画像を一時保存または転送する

データ入力欄

設定項目	設定内容
サーバーのアドレスまたはホスト名※1	<ul style="list-style-type: none">● サーバーのアドレスを設定するときは、192.168.0.253のように4つの数字（0～255）と3つのピリオドで設定してください。（ただし、"0.0.0.0"と"255.255.255.255"は使えません。ホスト名を設定するときは、1～255文字の半角英数字、記号を入力します。）● IPv6アドレスも設定できます。
ポート番号	<ul style="list-style-type: none">● 設定は1～65535の範囲で行います。通常21番を設定します。
ログインID※2	<ul style="list-style-type: none">● サーバーにログインするときのIDを設定します。（プロバイダーから指定されている場合のみ）0～63文字の半角英数字、記号を入力します。
パスワード※2	<ul style="list-style-type: none">● サーバーにログインするときのパスワードを設定します。（プロバイダーから指定されている場合のみ）0～63文字の半角英数字、記号を入力します。
ログインタイミング	<ul style="list-style-type: none">● サーバーにログインする回数を設定します。「1回」に設定して転送間隔が1分以内の場合、FTPサーバーへのログインは1回しか行われないため、ログイン・ログアウトによる処理時間を削減できます。
ファイル名※1	<ul style="list-style-type: none">● サーバーに保存するファイルの名前を設定します。1～234文字の半角英数字、記号を入力します。（"/"を入力することで、サーバーに作成するディレクトリ名を含むこともできます。） 例：NetworkCamera/image
書込方法	<ul style="list-style-type: none">● 「上書きする」を選ぶとサーバー上にカメラ画像を上書き保存します。「ファイル名に日時を追加する」を選ぶとファイル名に日時が追加されるため、カメラ画像を上書きせずに保存できます。 例: image20050101093020500.jpg （ファイル名の数字は「2005年1月1日9時30分20秒500ミリ秒」を表しています。）
データ転送方式	<ul style="list-style-type: none">● 通常は「パッシブモード」を選んでください。FTPが正常に動作しない場合は、「アクティブモード」を選び、動作を確認してください。

※1 ただし、[スペース]、[']、[']、[&]、[<]、[>]は使えません。

※2 ただし、["]は使えません。

アラーム検知でカメラ画像を一時保存または転送する

Eメール転送を行う場合

「Eメール転送」をチェックして、**次へ>** をクリックすると以下の画面が表示されます。

Eメール転送	
送信Eメール(SMTP)サーバーのアドレスまたはホスト名	<input type="text"/>
ポート番号 (標準25、1~65535)	<input type="text" value="25"/>
送信者 (Eメールアドレス)	<input type="text"/>
あて先1 (Eメールアドレス)	<input type="text"/>
あて先2 (Eメールアドレス)	<input type="text"/>
あて先3 (Eメールアドレス)	<input type="text"/>
件名 (半角44文字、全角22文字以内)	<input type="text"/>
本文 (半角63文字、全角31文字以内)	<input type="text"/>
認証方法	
<input checked="" type="radio"/> 認証なし	
<input type="radio"/> POP before SMTP 認証	
受信Eメール(POP3)サーバーのアドレスまたはホスト名	<input type="text"/>
ポート番号 (標準110、1~65535)	<input type="text" value="110"/>
ログインID (半角1~63文字)	<input type="text"/>
パスワード (半角0~63文字)	<input type="password"/>
<input type="radio"/> SMTP認証	
ログインID (半角1~63文字)	<input type="text"/>
パスワード (半角0~63文字)	<input type="password"/>

- **<戻る** をクリックすると、前の画面に戻ります。
- **キャンセル** をクリックすると、入力した設定は保存されずに動作条件設定画面に戻ります。



- Eメール転送はSMTP (Simple Mail Transfer Protocol) を使用しているメールサーバーでのみ正常に動作します。Hotmailのようにウェブブラウザを介してアクセスする場合は使用できません。
- Eメール転送による件名には日時(24時間制)が自動的に追加されています。ファイル名は「image.jpg」です。

例) 件名を「カメラ」にしたとき

カメラ：20050101093020500

件名の数字は「2005年1月1日9時30分20秒500ミリ秒」を表しています。



アラーム検知でカメラ画像を一時保存または転送する

データ入力欄

設定項目	設定内容
送信Eメール（SMTP） サーバーのアドレスまたは ホスト名* ¹	<ul style="list-style-type: none">●サーバーのアドレスを設定するときは、192.168.0.253のように4つの数字（0～255）と3つのピリオドで設定してください。（ただし、“0.0.0.0”と“255.255.255.255”は使えません。ホスト名を設定するときは、1～255文字の半角英数字、記号を入力します。）●IPv6アドレスも設定できます。
ポート番号	<ul style="list-style-type: none">●設定は1～65535の範囲で行います。通常25番を設定します。
送信者 （Eメールアドレス）* ²	<ul style="list-style-type: none">●Eメール転送を行っている送信者のEメールアドレスを設定します。管理者のEメールアドレスの入力をおすすめします。
あて先1～3（Eメールアドレス）* ²	<ul style="list-style-type: none">●Eメールを送信するあて先を3件まで設定できます。
件名* ²	<ul style="list-style-type: none">●Eメールの件名を入力します。全角では、0～22文字のひらがな、カタカナ、漢字、英数字、記号が入力できます。半角では、0～44文字の英数字、記号のみ入力できます。
本文* ²	<ul style="list-style-type: none">●Eメールの本文を入力します。全角では、0～31文字のひらがな、カタカナ、漢字、英数字、記号が入力できます。半角では、0～63文字の英数字、記号のみ入力できます。ただし、[改行]は使用できません。
認証方法	<p>Eメールを送信するときのユーザー認証について、認証なし、POP before SMTP認証、SMTP認証の3とおりが選べます。プロバイダーによっては、POPサーバーの認証が必要な場合があります。その場合は、POP before SMTP認証に設定してください。</p> <ul style="list-style-type: none">●認証なし：Eメール送信時に、ユーザー認証を行いません。●POP before SMTP認証：Eメールを送信するSMTPサーバーには認証機能がないものがあります。そこでEメールを送信する前に、Eメールを受信するPOPサーバーの認証機能を利用し、認証後にEメールを送信します。（次ページへつづく）

アラーム検知でカメラ画像を一時保存または転送する

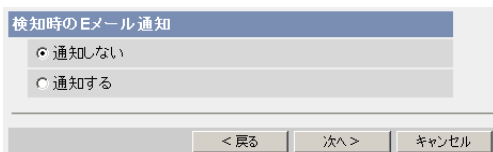
設定項目	設定内容
<p>認証方法</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 受信Eメール (POP3) サーバーのアドレスまたはホスト名※1 : <p>サーバーのアドレスを設定するときは、192.168.0.253のように4つの数字 (0~255) と3つのピリオドで設定してください。(ただし、"0.0.0.0"と"255.255.255.255" は使えません。ホスト名を設定するときは、0~255文字の半角英数字、記号を入力します。)</p> <p>IPv6アドレスも設定できます。設定は1~65535の範囲で行います。通常110番を設定します。</p> • ポート番号 : • ログインID※2 : • パスワード※2 : <p>● SMTP認証 : Eメールを送信するSMTPサーバーで、ユーザーIDとパスワードによってユーザー認証を行います。プロバイダーがSMTP認証に対応していることが必要です。カメラが対応しているSMTP認証は、PLAIN方式とLOGIN方式です。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ログインID※2 : <p>SMTP認証をするときのIDを設定します。(プロバイダーから指定されている場合のみ) 1~63文字の半角英数字、記号を入力します。</p> • パスワード※2 : <p>SMTP認証をするときのパスワードを設定します。(プロバイダーから指定されている場合のみ) 0~63文字の半角英数字、記号を入力します。</p>

※1 ただし、[スペース]、["]、[']、[&]、[<]、[>]は使えません。

※2 ただし、["]は使えません。

アラーム検知でカメラ画像を一時保存または転送する

- 9 設定値を確認して **次へ>** をクリックすると次の画面が表示されるので、Eメールで通知するかどうか指定して、**次へ>** をクリックする



- 「通知する」を選んだときは、検知時のEメール通知設定画面が表示されるので、111、112ページのデータ入力欄の説明を参照して設定してください。

データ入力欄

設定項目	設定内容
通知しない	● FTP転送、Eメール転送を行っても、通知のEメールは送られません。
通知する	● FTP転送、Eメール転送を行ったときに、通知のEメールを送れます。あて先は3件まで設定できます。

- 10 設定値を確認して **保存** をクリックする

- 新しく設定した内容が保存されます。
- 保存が完了すると、「保存が完了しました。」と表示されます。



保存 をクリックすると、SDメモリーカードに保存されている画像はすべて消去されます。

アラーム検知でカメラ画像を一時保存または転送する

11 動作条件設定画面へ をクリックする

- 動作条件設定画面が表示されます。

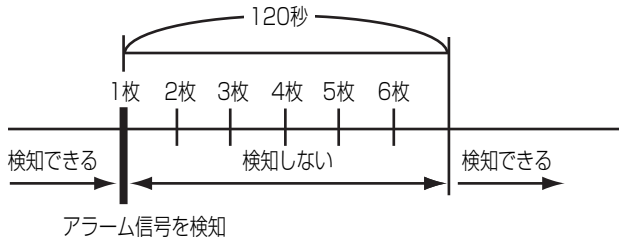


- 携帯電話にEメール転送するとき、転送間隔を短めに設定するとEメール転送される回数が増え、パケット料金が多くなる可能性があるため、転送間隔を長めに設定することをおすすめします。

携帯電話への転送間隔設定の推奨例：

1分間に1枚の間隔で合計1枚を一時保存／転送

- アラーム検知による画像転送では、一度の検知により設定したすべての画像枚数を一時保存または転送してしまうまで、次の検知は行われません。例えば、1分間に3枚の間隔で合計6枚を一時保存／転送する場合のアラーム信号の検知動作は以下のようになります。



- 内部メモリーに一時保存されている画像は、下記の操作を行っても、すべて消去されます。
 - ・電源を切る、または再起動する。
 - ・バージョンアップする。
 - ・工場出荷値に戻す。
 - ・「時計」の設定内容を保存する。

動作検知でカメラ画像を一時保存または転送する

動作検知をしたときにカメラ画像を一時保存、FTP転送、Eメール転送するための条件を設定します。



- 動作検知は、解像度、画質、被写体の状況により、検知レベルが異なります。実際に動作検知を行い、検知レベルを確認してください。(P.129ページ)
- 動作検知の設定を有効にすると、画像更新速度（フレームレート）が遅くなります。
- 光や風などの影響により画面に変化が生じた場合は、誤って検出する場合があります。
- 暗いときは動作検知できない場合があります。
- 動きが速い物体は動作検知できない場合があります。より確実に画像の一部分の小さな動作を検知するためには、検知したい対象物からカメラをなるべく離して設置してください。対象物を画面内に十分収めるとともに、しきい値はより低めに、感度はより高めに設定してください。
- パン／チルト中、ズーム操作中は動作検知しません。

1 設定画面で **動作条件** をクリックする

2 設定する動作条件のNo.をクリックする

動作条件										動作時間	転送条件	通知
No.	状態	動作条件	日	月	火	水	木	金	土			
1	無効	タイマー	○	○	○	○	○	○	○	常時	一時保存(上書きなし)	-
2	無効	タイマー	○	○	○	○	○	○	○	常時	一時保存(上書きなし)	-
3	無効	タイマー	○	○	○	○	○	○	○	常時	一時保存(上書きなし)	-
4	無効	タイマー	○	○	○	○	○	○	○	常時	一時保存(上書きなし)	-
5	無効	タイマー	○	○	○	○	○	○	○	常時	一時保存(上書きなし)	-

3 「設定を有効にする」にチェックし、動作条件として「動作検知」を選び、**次へ>** をクリックする



保存 をクリックすると、SDメモリーカードに保存されている画像はすべて消去されます。

- 選択した動作条件で一時保存されている画像を消去するには、**一時保存されている画像を消去する。** をクリックします。
- **保存** をクリックすると、設定が保存されます。
- **キャンセル** をクリックすると、入力した設定は保存されずに動作条件設定画面に戻ります。

動作検知でカメラ画像を一時保存または転送する

データ入力欄

設定項目	設定内容
設定を有効にする	●「設定を有効にする」にチェックを入れると、設定が有効になります。チェックをはずすと、無効になります。
動作条件	●「タイマー」を選ぶと、設定した時間にカメラ画像を一時保存／転送します。 ●「アラーム1」または「アラーム2」を選ぶと、設定した時間内にアラームを検知したときにカメラ画像を一時保存／転送します。 ●「動作検知」を選ぶと、設定した時間内に画像の動きを検知して決められた条件でカメラ画像を一時保存／転送します。

4 動作日時を設定して **次へ>** をクリックする

動作日時設定

日	月	火	水	木	金	土	動作時間											
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="radio"/> 常時	<input type="radio"/> 午前	0	時	0	分	～	午後	11	時	59	分

< 戻る 次へ> キャンセル



動作日時は、カメラ内部の時計が使われます。タイマー機能を使う前に時計を合わせてください。(P. 75ページ)

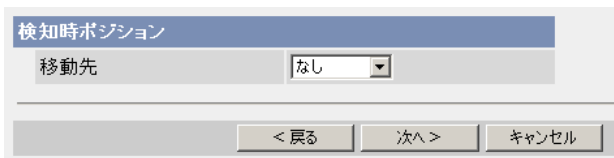
- **< 戻る** をクリックすると、前の画面に戻ります。
- **キャンセル** をクリックすると、入力した設定は保存されずに動作条件設定画面に戻ります。

データ入力欄

設定項目	設定内容
曜日	●それぞれの曜日ボックスにチェックを入れると、その曜日が有効になります。チェックをはずすと、無効になります。
動作時間	●時間帯を指定しないときは「常時」にチェックを入れてください。指定するときは時間指定欄のボックスにチェックを入れて時間帯を設定してください。

動作検知でカメラ画像を一時保存または転送する

5 検知時ポジションの移動先を選び **次へ>** をクリックする



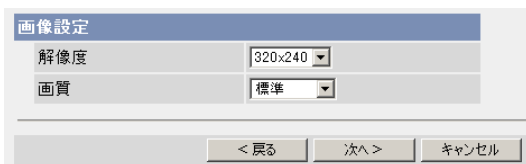
検知時ポジションを設定すると、一時保存／転送は、カメラの向きがホームポジション、アラーム1、アラーム2、登録されたプリセットポジション1～20へ移動したあとに開始されます。

- **< 戻る** をクリックすると、前の画面に戻ります。
- **キャンセル** をクリックすると、入力した設定は保存されずに動作条件設定画面に戻ります。

データ入力欄

設定項目	設定内容
移動先	● 動作を検知したときに、カメラの向きをホームポジション、アラーム1、アラーム2 (☞ 29ページ)、登録されたプリセットポジション1～20 (☞ 30ページ) に移動させるかどうかを設定します。


6 画像設定を行い **次へ>** をクリックする



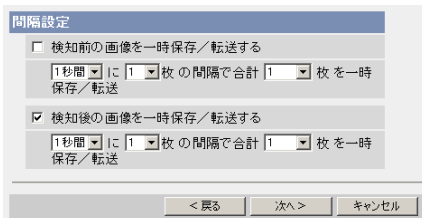
- **< 戻る** をクリックすると、前の画面に戻ります。
- **キャンセル** をクリックすると、入力した設定は保存されずに動作条件設定画面に戻ります。

動作検知でカメラ画像を一時保存または転送する

データ入力欄

設定項目	設定内容
解像度	● 一時保存／転送を行うときの解像度を選びます。 (640×480ドット、320×240ドット(工場出荷値)、160×120ドット)
画質	● 画質優先： 画像の画質を優先します。(動きは遅くなります。) 標準： 標準の画質です。(工場出荷値) 動き優先： 画像の動きを優先します。(画質は粗くなります。) 携帯電話用： 携帯電話に転送するときにはこの設定にします。  画質として「携帯電話用」を選ぶときは、解像度 640×480ドットは設定できません。

7 一時保存／転送する間隔を設定して **次へ>** をクリックする



- ネットワーク環境、被写体、アクセス数、SDメモリーカードへの録画機能、IPsec機能の影響で、指定した枚数分録画されない場合があります。SDメモリーカードへ録画するときは、設定した間隔で録画されないことがあります。その場合は、間隔を長く設定してください。
- SDメモリーカードへ録画するときは、1秒間に1枚の間隔設定を目安にしてください。
- **<戻る** をクリックすると、前の画面に戻ります。
- **キャンセル** をクリックすると、入力した設定は保存されずに動作条件設定画面に戻ります。

データ入力欄

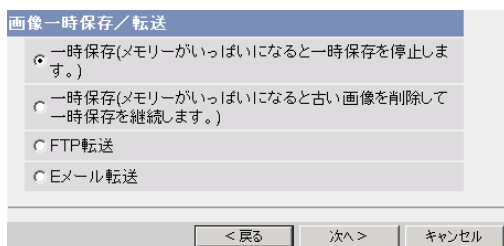
設定項目	設定内容
検知前の画像を一時保存／転送する	● ボックスにチェックを入れると、設定が有効になります。動作を検知したときの直前のカメラ画像を一時保存／転送します。 ● 一時保存／転送するときの「時間間隔」とそのときに転送する画像の「枚数」、転送する画像の「合計枚数」(※ 190ページ)を指定します。「合計枚数」は、メモリーサイズ、解像度、画質、被写体によって変わるので、設定した枚数よりも少なくなる場合があります。

動作検知でカメラ画像を一時保存または転送する

データ入力欄

設定項目	設定内容
検知後の画像を一時保存／転送する	<ul style="list-style-type: none">● ボックスにチェックを入れると、設定が有効になります。動作を検知したときの直後のカメラ画像を一時保存／転送します。● 一時保存／転送するときの「時間間隔」とそのときに転送する画像の「枚数」、転送する画像の「合計枚数」(☞ 190ページ)を指定します。「合計枚数」は、メモリーサイズ、解像度、画質、被写体によって変わるので、設定した枚数よりも少なくなる場合があります。

8 一時保存／転送方法を選び **次へ>** をクリックする



FTP転送、Eメール転送を使用する場合は、ネットワークの設定画面でデフォルトゲートウェイとDNSサーバーのIPアドレスが設定されているか確認してください。(☞ 45、50ページ)

- **<戻る** をクリックすると、前の画面に戻ります。
- **キャンセル** をクリックすると、入力した設定は保存されずに動作条件設定画面に戻ります。

データ入力欄

設定項目	設定内容
一時保存 (上書きなし)	● カメラ内部のメモリーがいっぱいになると一時保存を停止します。
一時保存 (上書きあり)	● カメラ内部のメモリーがいっぱいになると古い画像を削除して一時保存を継続します。
FTP転送	● FTPサーバーにカメラ画像を転送できます。 (☞ 120ページ)
Eメール転送	● Eメールを使ってカメラ画像を転送できます。 (☞ 122ページ)

動作検知でカメラ画像を一時保存または転送する

FTP転送を行う場合

「FTP転送」をチェックして、**次へ>** をクリックすると以下の画面が表示されます。

FTP転送	
サーバーのアドレスまたは ホスト名	<input type="text"/>
ポート番号 (標準21、1~65535)	21 <input type="text"/>
ログインID (半角0~83文字)	<input type="text"/>
パスワード (半角0~83文字)	<input type="text"/>
ログインタイミング	毎回 ▾
ファイル名 (半角1~234文字)	<input type="text"/>
書込方法	上書きする ▾
データ転送方式	パッシブモード ▾

- **戻る** をクリックすると、前の画面に戻ります。
- **キャンセル** をクリックすると、入力した設定は保存されずに動作条件設定画面に戻ります。

動作検知でカメラ画像を一時保存または転送する

データ入力欄

設定項目	設定内容
サーバーのアドレスまたはホスト名※ ¹	●サーバーのアドレスを設定するときは、192.168.0.253のように4つの数字（0～255）と3つのピリオドで設定してください。（ただし、「0.0.0.0」と「255.255.255.255」は使えません。ホスト名を設定するときは、1～255文字の半角英数字、記号を入力します。） ●IPv6アドレスも設定できます。
ポート番号	●設定は1～65535の範囲で行います。通常21番を設定します。
ログインID※ ²	●サーバーにログインするときのIDを設定します。（プロバイダーから指定されている場合のみ）0～63文字の半角英数字、記号を入力します。
パスワード※ ²	●サーバーにログインするときのパスワードを設定します。（プロバイダーから指定されている場合のみ）0～63文字の半角英数字、記号を入力します。
ログインタイミング	●サーバーにログインする回数を設定します。「1回」に設定して転送間隔が1分以内の場合、FTPサーバーへのログインは1回しか行われないため、ログイン・ログアウトによる処理時間を削減できます。
ファイル名※ ¹	●サーバーに保存するファイルの名前を設定します。1～234文字の半角英数字、記号を入力します。（"/"を入力することで、サーバーに作成するディレクトリ名を含むこともできます。） 例：NetworkCamera/image
書込方法	●「上書きする」を選ぶとサーバー上にカメラ画像を上書き保存します。「ファイル名に日時を追加する」を選ぶとファイル名に日時が追加されるため、カメラ画像を上書きせずに保存できます。 例: image20050101093020500.jpg （ファイル名の数字は「2005年1月1日9時30分20秒500ミリ秒」を表しています。）
データ転送方式	●通常は「パッシブモード」を選んでください。FTPが正常に動作しない場合は、「アクティブモード」を選び、動作を確認してください。

※¹ ただし、[スペース]、[']、[]、[&]、[<]、[>]は使えません。

※² ただし、["]は使えません。

動作検知でカメラ画像を一時保存または転送する

Eメール転送を行う場合

「Eメール転送」をチェックして、**次へ>** をクリックすると以下の画面が表示されます。

Eメール転送	
送信Eメール(SMTP)サーバーのアドレスまたはホスト名	<input type="text"/>
ポート番号 (標準25、1~65535)	<input type="text" value="25"/>
送信者 (Eメールアドレス)	<input type="text"/>
あて先1 (Eメールアドレス)	<input type="text"/>
あて先2 (Eメールアドレス)	<input type="text"/>
あて先3 (Eメールアドレス)	<input type="text"/>
件名 (半角44文字、全角22文字以内)	<input type="text"/>
本文 (半角83文字、全角31文字以内)	<input type="text"/>
認証方法	
<input checked="" type="radio"/> 認証なし	
<input type="radio"/> POP before SMTP 認証	
受信Eメール(POP3)サーバーのアドレスまたは	<input type="text"/>
は	
ホスト名	<input type="text"/>
ポート番号 (標準110、1~65535)	<input type="text" value="110"/>
ログインID (半角1~83文字)	<input type="text"/>
パスワード (半角0~83文字)	<input type="password"/>
<input type="radio"/> SMTP認証	
ログインID (半角1~83文字)	<input type="text"/>
パスワード (半角0~83文字)	<input type="password"/>

- **戻る** をクリックすると、前の画面に戻ります。
- **キャンセル** をクリックすると、入力した設定は保存されずに動作条件設定画面に戻ります。



● Eメール転送はSMTP (Simple Mail Transfer Protocol) を使用しているメールサーバーでのみ正常に動作します。Hotmailのようにウェブブラウザを介してアクセスする場合は使用できません。

● Eメール転送による件名には日時(24時間制)が自動的に追加されています。ファイル名は「image.jpg」です。

例) 件名を「カメラ」にしたとき

カメラ：20050101093020500

件名の数字は「2005年1月1日9時30分20秒500ミリ秒」を表しています。

動作検知でカメラ画像を一時保存または転送する

データ入力欄

設定項目	設定内容
送信Eメール（SMTP） サーバーのアドレスまたは ホスト名* ¹	<ul style="list-style-type: none">● サーバーのアドレスを設定するときは、192.168.0.253のように4つの数字（0～255）と3つのピリオドで設定してください。（ただし、“0.0.0.0”と“255.255.255.255”は使えません。ホスト名を設定するときは、1～255文字の半角英数字、記号を入力します。）● IPv6アドレスも設定できます。
ポート番号	<ul style="list-style-type: none">● 設定は1～65535の範囲で行います。通常25番を設定します。
送信者 （Eメールアドレス）* ²	<ul style="list-style-type: none">● Eメール転送を行っている送信者のEメールアドレスを設定します。管理者のEメールアドレスの入力をおすすめします。
あて先1～3（Eメールアドレス）* ²	<ul style="list-style-type: none">● Eメールを送信するあて先を3件まで設定できます。
件名* ²	<ul style="list-style-type: none">● Eメールの件名を入力します。全角では、0～22文字のひらがな、カタカナ、漢字、英数字、記号が入力できます。半角では、0～44文字の英数字、記号のみ入力できます。
本文* ²	<ul style="list-style-type: none">● Eメールの本文を入力します。全角では、0～31文字のひらがな、カタカナ、漢字、英数字、記号が入力できます。半角では、0～63文字の英数字、記号のみ入力できます。ただし、[改行]は使用できません。
認証方法	<p>Eメールを送信するときのユーザー認証について、認証なし、POP before SMTP認証、SMTP認証の3とおりが選べます。プロバイダーによっては、POPサーバーの認証が必要な場合があります。その場合は、POP before SMTP認証に設定してください。</p> <ul style="list-style-type: none">● 認証なし：Eメール送信時に、ユーザー認証を行いません。● POP before SMTP認証：Eメールを送信するSMTPサーバーには認証機能がないものがあります。そこでEメールを送信する前に、Eメールを受信するPOPサーバーの認証機能を利用し、認証後にEメールを送信します。（次ページへつづく）

動作検知でカメラ画像を一時保存または転送する

設定項目	設定内容
認証方法	<ul style="list-style-type: none"> • 受信Eメール（POP3）サーバーのアドレスまたはホスト名※1：サーバーのアドレスを設定するときは、192.168.0.253のように4つの数字（0～255）と3つのピリオドで設定してください。（ただし、「0.0.0.0」と「255.255.255.255」は使えません。ホスト名を設定するときは、0～255文字の半角英数字、記号を入力します。）IPv6アドレスも設定できます。 • ポート番号：設定は1～65535の範囲で行います。通常110番を設定します。 • ログインID※2：POP3サーバーにログインするときのIDを設定します。（プロバイダーから指定されている場合のみ）1～63文字の半角英数字、記号を入力します。 • パスワード※2：POP3サーバーにログインするときのパスワードを設定します。（プロバイダーから指定されている場合のみ）0～63文字の半角英数字、記号を入力します。 <p>● SMTP認証：Eメールを送信するSMTPサーバーで、ユーザーIDとパスワードによってユーザー認証を行います。プロバイダーがSMTP認証に対応していることが必要です。カメラが対応しているSMTP認証は、PLAIN方式とLOGIN方式です。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ログインID※2：SMTP認証をするときのIDを設定します。（プロバイダーから指定されている場合のみ）1～63文字の半角英数字、記号を入力します。 • パスワード※2：SMTP認証をするときのパスワードを設定します。（プロバイダーから指定されている場合のみ）0～63文字の半角英数字、記号を入力します。

※1 ただし、[スペース]、[']、[]、[&]、[<]、[>]は使えません。

※2 ただし、["]は使えません。

動作検知でカメラ画像を一時保存または転送する

- 9 設定値を確認して **次へ>** をクリックすると次の画面が表示されるので、Eメールで通知するかどうか指定して、**次へ>** をクリックする

- 「通知する」を選んだときは、検知時のEメール通知設定画面が表示されるので、123、124ページのデータ入力欄の説明を参照して設定してください。

データ入力欄

設定項目	設定内容
通知しない	● FTP転送、Eメール転送を行っても、通知のEメールは送られません。
通知する	● FTP転送、Eメール転送を行ったときに、通知のEメールを送れます。あて先は3件まで設定できます。

- 10 設定値を確認して **保存** をクリックする

- 新しく設定した内容が保存されます。
- 保存が完了すると、「保存が完了しました。」と表示されます。



保存 をクリックすると、SDメモリーカードに保存されている画像はすべて消去されます。

- 11 **動作条件設定画面へ** をクリックする

- 動作条件設定画面が表示されます。

動作検知でカメラ画像を一時保存または転送する

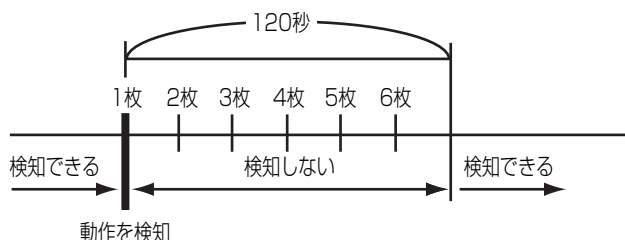


- 携帯電話にEメール転送するとき、転送間隔を短めに設定するとEメール転送される回数が増え、ポケット料金が多くかかる可能性があるため、転送間隔を長めに設定することをおすすめします。

携帯電話への転送間隔設定の推奨例：

1分間に1枚の間隔で合計1枚を一時保存／転送

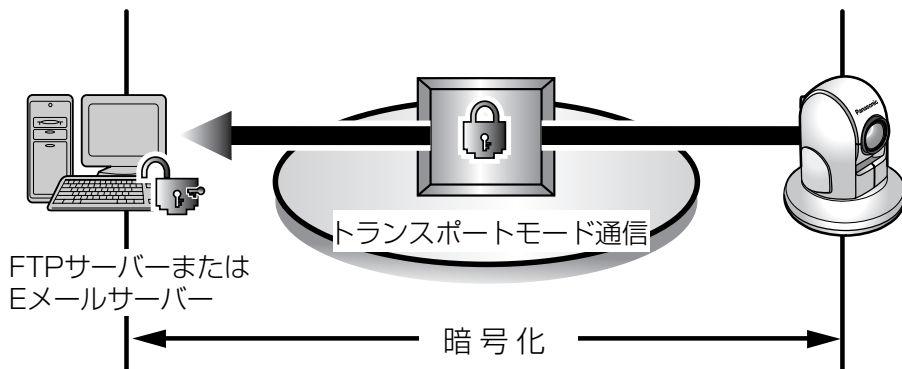
- 動作検知による画像転送では、一度の検知により設定したすべての画像枚数を一時保存または転送してしまうまで、次の検知は行われません。例えば、1分間に3枚の間隔で合計6枚を一時保存／転送する場合の動作検知は以下ようになります。



- 内部メモリーに一時保存されている画像は、下記の操作を行っても、すべて消去されません。
 - ・電源を切る、または再起動する。
 - ・バージョンアップする。
 - ・工場出荷値に戻す。
 - ・「時計」の設定内容を保存する。

トランスポートモードで暗号化してカメラ画像を転送する

FTPサーバーまたはEメールサーバーに転送するカメラ画像をトランスポートモードを使って暗号化できます。



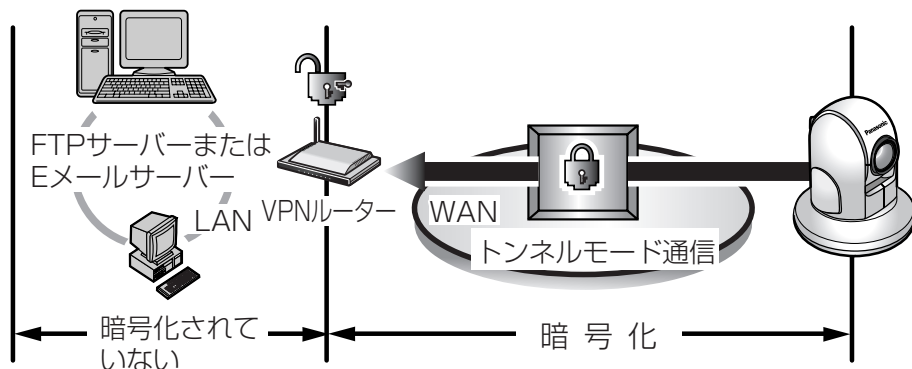
下記の環境を用意する必要があります。

項目	内容
FTPサーバーまたはEメールサーバー	● OS : IPsec対応 加入サービス : 複数の固定IPアドレスサービス (サーバーにグローバルアドレスを設定する必要があります。)
カメラ	● 加入サービス : 複数の固定IPアドレスサービス (カメラにグローバルアドレスを設定する必要があります。)

58ページを参照し、FTPサーバーまたはEメールサーバーを設定してください。

トンネルモードで暗号化してカメラ画像を転送する

FTPサーバーまたはEメールサーバーに転送するカメラ画像をトンネルモードを使って暗号化できます。



下記の環境を用意する必要があります。

項目	内容
VPNルーター	<ul style="list-style-type: none">● 加入サービス (IPv4のとき) : 固定IPアドレスサービス (WAN側IPアドレスが固定グローバルアドレスである必要があります。)加入サービス (IPv6のとき) : 「IPv6 over IPv4トンネル接続」または「IPv4/IPv6デュアル接続」サービス
カメラ	<ul style="list-style-type: none">● 加入サービス (IPv4のとき) : 複数の固定IPアドレスサービス (カメラにグローバルアドレスを設定する必要があります。)加入サービス (IPv6のとき) : 「IPv6 over IPv4トンネル接続」または「IPv4/IPv6デュアル接続」サービス

61ページを参照し、設定してください。

動作検知感度を設定する

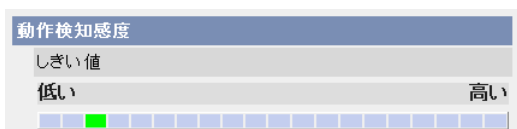
動作検知の感度を設定できます。動作条件が動作検知のとき有効になります。「しきい値」は、動作検知のしきい値を調整します。しきい値が低いほど小さな変化で検知します。「感度」は、感度が高いほど動作検知バーの振幅が大きくなります。動作検知機能の詳しい説明については、130ページの「動作検知機能について」を参照してください。



パン/チルト中、ズーム操作中は動作検知しません。

1 設定画面で **動作検知感度** をクリックする

2 「しきい値」バーをクリックする



3 「感度」バーをクリックする



4 **保存** をクリックする

- **元に戻す** をクリックすると、入力した設定は保存されずに変更前の設定に戻ります。

5 **動作検知感度設定画面へ** をクリックする

- 動作検知感度設定画面が表示されます。

動作検知感度を設定する

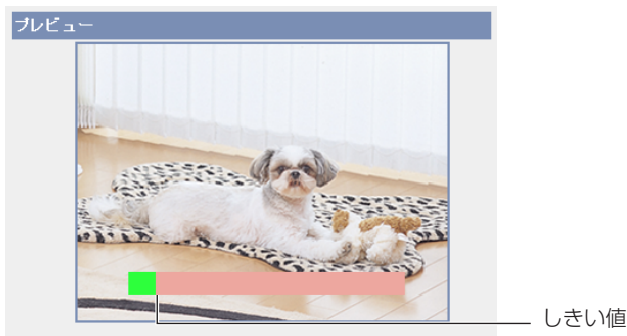
データ入力欄

設定項目	設定内容
しきい値	● 動作検知のしきい値を調整します。しきい値が低いほど、小さな変化で検知します。
感度	● 感度が高いほど、小さな変化を捉え、動作検知バーの振幅が大きくなります。

プレビュー

現在のしきい値の設定値と検知レベルが表示されます。

- しきい値：緑色と赤色の境で表示されます。
- 検知レベル：濃い色と薄い色の境で表示されます。検知レベルがしきい値を超えると、動作を検知します。
- 設定したしきい値および感度は保存したあとに有効になり、プレビューに反映されます。
- クリック&センタリング機能を使えます。



動作検知機能について



動作検知機能を使うことによって生じた事故などの結果について、当社は一切の責任を負いません。常に高い信頼性を求められる監視などの用途には、動作検知機能を使わないことをおすすめします。動作検知機能は、常に高い信頼性を求められる用途には適していません。

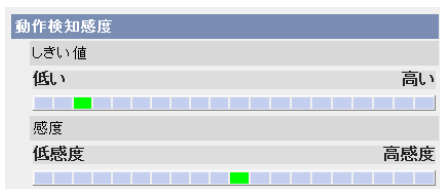
■ しきい値とは？

動作検知を行う場合に、カメラ画像に動きがあったかどうかを判断するために設定する値です。小さな動きの変化に応じて検知したい場合は、低い値に設定してください。カメラ画像の半分以上を占めるような大きな動きの変化に応じて検知したい場合は、高い値に設定してください。

動作検知感度を設定する

■ 感度とは？

感度は、画像の輝度にどのくらいの変化がある場合に動きがあると判断するかを決めるために設定する値です。高感度に設定すると、わずかな輝度の変化でも動きとして捉えます。大きな輝度変化の場合だけを動きとして捉えたいときは、低感度に設定してください。

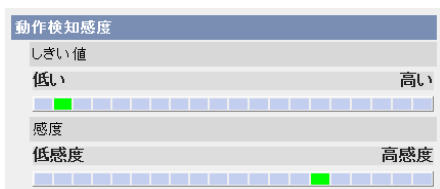


検知レベルが「しきい値」以上になると、検知します。

「しきい値」で設定したレベルに対応



しきい値を低めに、感度を高感度に設定することで、画像の一部分の小さな動きでも動作を検知し、より簡単に動きを検知できます。



カメラ搭載の動作検知は、動きの変化を物体の輪郭の変化と輝度変化によって検知しています。これは、太陽光などによる全体的な明るさの変化で誤って動作検知することを軽減するためです。ただし、蛍光灯などにより全体的に明るさが急変する場合は、誤って動作検知する場合がありますためご注意ください。一方、別売りのネットワークカメラ専用録画プログラムの動作検知は、動きの変化を物体全体の変化と輝度変化によって検知しています。従って、同じ動作を検知するための設定が、カメラの動作検知と録画プログラムとは異なります。また、背景と同色の衣服を着た人物の動きなどに対して検知しにくい場合があります。

アラームログ通知先を設定する

一日一回、指定した時間に送付されるEメールでアラームログを確認できます。アラームログ通知を設定するには、動作条件をアラーム1、アラーム2、または、動作検知にして、設定を有効にしてください。

1 設定画面で **アラームログ通知** をクリックする

2 データ入力欄にそれぞれの設定値を入力する

動作設定						
<input type="radio"/> 通知しない						
<input type="checkbox"/> 通知する(新着アラームログがない場合:通知しない)						
<input type="checkbox"/> 通知する(新着アラームログがない場合:通知する)						
日時設定						
日	月	次	ホ	全	土	通知時間
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
						午後 <input type="text" value="0"/> 時 <input type="text" value="0"/> 分
アラームログ通知先設定						
送信Eメール(SMTP)サーバーのアドレスまたはホスト名						
ポート番号 (標準25、1~65535)						
送信者 (Eメールアドレス)						
あて先1 (Eメールアドレス)						
あて先2 (Eメールアドレス)						
あて先3 (Eメールアドレス)						
件名 (半角44文字,全角22文字以内)						
アラームログ						
認証方法						
<input type="checkbox"/> 認証なし						
<input type="checkbox"/> POP before SMTP 認証						
送信Eメール(POP3)サーバーのアドレスまたは						
ホスト名						
ポート番号 (標準110、1~65535)						
ログインID (半角1~83文字)						
パスワード (半角0~83文字)						
<input type="checkbox"/> SMTP認証						
ログインID (半角1~83文字)						
パスワード (半角0~83文字)						
保存 キャンセル						

3 **保存** をクリックする

- **キャンセル** をクリックすると、入力した設定は保存されずに変更前の設定に戻ります。

4 **アラームログ通知先設定画面へ** をクリックする

- アラームログ通知先設定画面が表示されます。



- 動作設定を変更して保存すると、新着アラームログの件数が0件になります。
- Eメール転送はSMTP (Simple Mail Transfer Protocol) を使用しているメールサーバーでのみ正常に動作します。Hotmailのようにウェブブラウザを介してアクセスする場合は使用できません。

アラームログ通知先を設定する

データ入力欄

設定項目	設定内容
動作設定	<ul style="list-style-type: none">● アラームログの通知動作について選びます。
日時設定	<ul style="list-style-type: none">● アラームログを通知する場合、一日一回Eメールで通知します。その通知日時を設定します。
送信Eメール (SMTP) サーバーのアドレスまたは ホスト名※1	<ul style="list-style-type: none">● サーバーのアドレスを設定するときは、192.168.0.253のように4つの数字 (0~255) と3つのピリオドで設定してください。(ただし、"0.0.0.0"と"255.255.255.255" は使えません。ホスト名を設定するときは、1~255文字の半角英数字、記号を入力します。)● IPv6アドレスも設定できます。
ポート番号	<ul style="list-style-type: none">● 設定は1~65535の範囲で行います。通常25番を設定します。
送信者 (Eメールアドレス) ※2	<ul style="list-style-type: none">● Eメール転送を行っている送信者のEメールアドレスを設定します。管理者のEメールアドレス入力をおすすめします。
あて先1~3 (Eメールアドレス) ※2	<ul style="list-style-type: none">● Eメールを送信するあて先を3件まで設定できます。
件名※2	<ul style="list-style-type: none">● Eメールの件名を入力します。全角では、0~22文字のひらがな、カタカナ、漢字、英数字、記号が入力できます。半角では、0~44文字の英数字、記号のみ入力できます。
認証方法	<p>アラームログを通知するときのユーザー認証について、認証なし、POP before SMTP認証、SMTP認証の3とおりが選べます。プロバイダーによっては、POPサーバーの認証が必要な場合があります。その場合は、POP before SMTP認証に設定してください。</p> <ul style="list-style-type: none">● 認証なし：Eメール送信時に、ユーザー認証を行いません。● POP before SMTP認証：Eメールを送信するSMTPサーバーには認証機能がないものがあります。そこで、Eメールを送信する前に、Eメールを受信するPOPサーバーの認証機能を利用し、認証後に、Eメールを送信します。(次ページへつづく)

アラームログ通知先を設定する

設定項目	設定内容
認証方法	<ul style="list-style-type: none">受信Eメール (POP3) サーバーのアドレスまたはホスト名※1 : サーバーのアドレスを設定するときは、192.168.0.253のように4つの数字 (0~255) と3つのピリオドで設定してください。(ただし、"0.0.0.0"と"255.255.255.255"は使えません。ホスト名を設定するときは、0~255文字の半角英数字、記号を入力します。) IPv6アドレスも設定できます。ポート番号 : 設定は1~65535の範囲で行います。通常110番を設定します。ログインID※2 : POP3サーバーにログインするときのIDを設定します。(プロバイダーから指定されている場合のみ) 1~63文字の半角英数字、記号を入力します。パスワード※2 : POP3サーバーにログインするときのパスワードを設定します。(プロバイダーから指定されている場合のみ) 0~63文字の半角英数字、記号を入力します。 <p>● SMTP認証 : Eメールを送信するSMTPサーバーで、ユーザーIDとパスワードによってユーザー認証を行います。プロバイダーがSMTP認証に対応していることが必要です。カメラが対応しているSMTP認証は、PLAIN方式とLOGIN方式です。</p> <ul style="list-style-type: none">ログインID※2 : SMTP認証をするときのIDを設定します。(プロバイダーから指定されている場合のみ) 1~63文字の半角英数字、記号を入力します。パスワード※2 : SMTP認証をするときのパスワードを設定します。(プロバイダーから指定されている場合のみ) 0~63文字の半角英数字、記号を入力します。

※1 ただし、[スペース]、["], ['], [&], [<], [>]は使えません。

※2 ただし、["]は使えません。

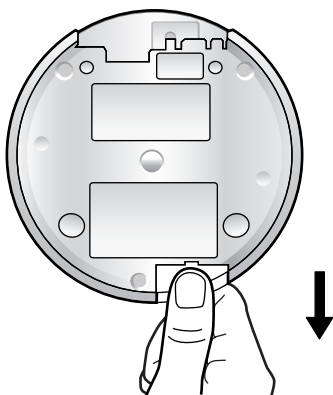
SDメモリーカードを使うとき

SDメモリーカード（別売品）に録画したり、その画像を再生したりすることができます。下記手順に従い、SDメモリーカードをカメラに差し込んでください。

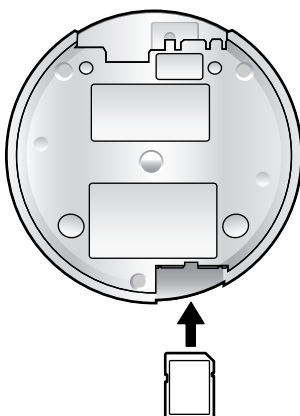


- SDメモリーカードにカメラ画像を録画するには事前に、フォーマットが必要です。（※ 137ページ）
- SDメモリーカードに録画したファイルはビューアソフトを使ってパソコン上で見られます。ビューアソフトはパナソニックのサポートウェブサイト（<http://panasonic.biz/netsys/netwkcaml/support/>）からダウンロードし、パソコンにインストールしてください。

1 底面の矢印のマークを押さえ、手前に引きながらカバーをはずす

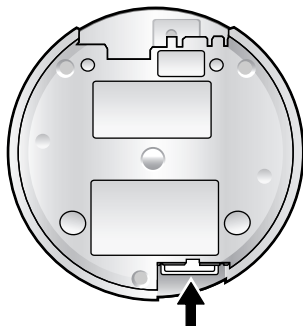


2 SDメモリーカードのラベルが上向きになっていることを確認し、図のように差し込む



SDメモリーカードを使うとき

- 3** SDメモリーカードを差し込み、指でカチッと音がするまで押す、また、SDメモリーカードを取り出すときは、カードを軽く押してスロットから取り出す



- 録音できません。
- SDメモリーカードの取り出しは、録画を停止したあとに行ってください。(P. 139ページ) 録画中にSDメモリーカードを抜くと画像ファイルが読み取れなくなります。
- カメラが天井に取り付けられた状態でSDメモリーカードは取り出せません。

- 4** カバーをしっかりと閉める

SDメモリーカードをフォーマットする

SDメモリーカードにカメラ画像を録画する前に、フォーマットをしてください。
SDメモリーカードを使用するときは、「SDメモリーカードのご利用について」をご参照ください。



SDメモリーカードの使用容量などの情報は、ステータス画面（☞ 149ページ）に表示されます。

- 1 SDメモリーカードを差し込む（☞ 135ページ）
- 2 設定画面で **動作条件** をクリックする
- 3 **フォーマット** をクリックする

動作条件												
No.	状態	動作条件	日	月	火	水	木	金	土	動作時間	転送条件	通知
1	無効	タイマー	○	○	○	○	○	○	○	常時	一時保存(上書きなし)	-
2	無効	タイマー	○	○	○	○	○	○	○	常時	一時保存(上書きなし)	-
3	無効	タイマー	○	○	○	○	○	○	○	常時	一時保存(上書きなし)	-
4	無効	タイマー	○	○	○	○	○	○	○	常時	一時保存(上書きなし)	-
5	無効	タイマー	○	○	○	○	○	○	○	常時	一時保存(上書きなし)	-

SDメモリーカード

SDメモリーカードのフォーマット、SD録画停止を行います。
SDメモリーカードを取り出す場合は、SD録画停止ボタンを押してから取り出してください。

- 4 確認画面が出るので、**OK** をクリックする
 - フォーマットを完了します。
- 5 **動作条件設定画面へ** をクリックする
 - 動作条件設定画面が表示されます。

SDメモリーカードのご利用について

SDメモリーカードご利用時は、FTP転送、Eメール転送などでSDメモリーカードに一時保存されない場合でも、FTP転送、Eメール転送失敗時の保存領域として使用するため、設定を「有効」にした段階で、一時保存領域が設定数で等分されます。

SDメモリーカードへの録画を開始する

動作条件設定画面で、SDメモリーカードへの録画を開始します。



- SDメモリーカードの使用容量などの情報は、ステータス画面 (P. 149ページ) に表示されます。
- SDメモリーカードへの録画を再開するには、次の方法があります。
 - ・ カメラを再起動する。(P. 151ページ)
 - ・ SDメモリーカードを一度抜いてもう一度差し込む。(P. 135ページ)

1 設定画面で **動作条件** をクリックする

2 **SD録画開始** をクリックする

動作条件													
No	状態	動作条件	日	月	火	水	木	金	土	日	動作時間	転送条件	通知
1	無効	タイマー	○	○	○	○	○	○	○	○	常時	一時保存(上書きなし)	-
2	無効	タイマー	○	○	○	○	○	○	○	○	常時	一時保存(上書きなし)	-
3	無効	タイマー	○	○	○	○	○	○	○	○	常時	一時保存(上書きなし)	-
4	無効	タイマー	○	○	○	○	○	○	○	○	常時	一時保存(上書きなし)	-
5	無効	タイマー	○	○	○	○	○	○	○	○	常時	一時保存(上書きなし)	-

SDメモリーカード

SDメモリーカードのフォーマット、SD録画開始を行います。
SDメモリーカードに録画を行う場合は、SD録画開始ボタンを押してください。

フォーマット SD録画開始

- 「SD録画を開始しました。」と表示されます。

3 **動作条件設定画面へ** をクリックする

SD録画を開始しました。

動作条件設定画面へ

- 動作条件設定画面が表示されます。



SDメモリーカードを取り出す前に、録画が停止していることを確認してください。SDメモリーカードへの録画開始後は、SDメモリーカードの抜き差し、カメラの再起動、電源を切ったりしないでください。録画ができる枚数や容量の減少、または、データの破損や故障の原因となります。

SDメモリーカードへの録画を停止する

SDメモリーカードの取り出しは、必ず録画を停止してから行ってください。



- SDメモリーカードの使用容量などの情報は、ステータス画面（[P.149](#)ページ）に表示されます。
- SDメモリーカードへの録画を再開するには、次の方法があります。
 - ・ カメラを再起動する。（[P.151](#)ページ）
 - ・ SDメモリーカードを一度抜いてもう一度差し込む。（[P.135](#)ページ）

1 設定画面で **動作条件** をクリックする

2 **SD録画停止** をクリックする

動作条件												
No	状態	動作条件	日	月	火	水	木	金	土	動作時間	転送条件	通知
1	無効	タイマー	○	○	○	○	○	○	○	常時	一時保存(上書きなし)	-
2	無効	タイマー	○	○	○	○	○	○	○	常時	一時保存(上書きなし)	-
3	無効	タイマー	○	○	○	○	○	○	○	常時	一時保存(上書きなし)	-
4	無効	タイマー	○	○	○	○	○	○	○	常時	一時保存(上書きなし)	-
5	無効	タイマー	○	○	○	○	○	○	○	常時	一時保存(上書きなし)	-

SDメモリーカード

SDメモリーカードのフォーマット、SD録画停止を行います。
SDメモリーカードを取り出す場合には、SD録画停止ボタンを押してから取り出してください。

3 確認画面が出るので、 **OK** をクリックする

- SDメモリーカードへの録画を停止します。

4 **動作条件設定画面へ** をクリックする

- 動作条件設定画面が表示されます。



SDメモリーカードを取り出す前に、録画が停止していることを確認してください。SDメモリーカードへの録画開始後は、SDメモリーカードの抜き差し、カメラの再起動、電源を切ったりしないでください。録画できる枚数や容量の減少、または、データの破損や故障の原因となります。

シングル画面、マルチ画面の解像度、画質などの画像表示設定の初期設定を変更する

シングル画面、マルチ画面の解像度、画質、画像更新間隔などの初期設定（ユーザーがカメラにアクセスしたときに表示する画像設定）を変更できます。画像内に時刻やバナーを表示できます。


- 1 設定画面で **画像表示** をクリックする
- 2 データ入力欄にそれぞれの設定値を入力する

シングル画面	
解像度	320x240
画質	標準
画像更新間隔	動画
マルチ画面	
解像度	320x240
画質	標準
画像更新間隔	動画
時刻表示設定	
時刻表示	表示しない
表示言語設定	
表示言語	日本語
バナー表示設定	
<input type="checkbox"/> 有効にする	
表示対象	全ユーザー表示
画像URL (半角1~127文字)	
リンク先URL (半角0~127文字)	
保存	
元に戻す	


- **元に戻す** をクリックすると、入力した設定は保存されずに変更前の設定に戻ります。

シングル画面、マルチ画面の解像度、画質などの画像表示設定の初期設定を変更する

データ入力欄

設定項目	設定内容
解像度	<ul style="list-style-type: none">● 表示する解像度を設定できます。 640×480ドット 「シングル画面」のみ 320×240ドット (工場出荷値) 160×120ドット 「マルチ画面」のみ
画質	<ul style="list-style-type: none">● 画質優先: 画像の画質を優先します。 (動きは遅くなります。) 標準 : 標準の画質です。(工場出荷値) 動き優先: 画像の動きを優先します。 (画質は粗くなります。)
画像更新間隔	<ul style="list-style-type: none">● 画像を更新する間隔を選びます。● 次の設定から選べます。<ul style="list-style-type: none">・ 動画、3秒、5秒、10秒、30秒、60秒
時刻表示設定	<ul style="list-style-type: none">● カメラ画像の左上に時刻を表示します。「表示する」または「表示しない」を選べます。  <ul style="list-style-type: none">● この機能を使うと、一時保存画像画面上にも時刻が表示されます。● 時計設定で表示切替(12時間制または24時間制)を行えます。
表示言語設定	<ul style="list-style-type: none">● 表示言語として、英語、日本語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語、中国語、ロシア語、韓国語が設定できます。日本語、英語、中国語が設定される場合には、すべての画面を設定言語で表示できます。その他の言語が設定される場合、設定された言語は、トップ画面、シングル画面、マルチ画面、一時保存画面、ログイン画面の初期設定言語として表示されます。設定画面、メンテナンス画面、サポート画面は、英語で表示されます。

シングル画面、マルチ画面の解像度、画質などの画像表示設定の初期設定を変更する

設定項目	設定内容
バナー表示設定 ● 表示対象 ● 画像URL ※ ● リンク先URL ※	<p>「有効にする」にチェックを入れると、設定が有効になり、シングル画面にバナーを表示します。チェックをはずすと、無効になります。</p> <p> ● バナー表示を有効にすると、シングル画面を表示することに設定された画像URLにアクセスします。シングル画面を頻繁に切り替えると、画像URLのあるパソコンに負荷が掛かることがあります。</p> <p>● 認証が必要なパソコンやサーバーにある画像を画像URLに設定する場合、シングル画面を表示するときに認証画面が表示されます。</p> <p>● 全ユーザー表示 : カメラにアクセスしたすべてのユーザーにバナーを表示します。 管理者のみ表示 : 管理者がアクセスしたときのみバナーを表示します。 一般ユーザーのみ : 一般ユーザーがアクセスしたときのみバナーを表示します。</p> <p>● バナーとして表示させたい画像のURLを入力します。「有効にする」に設定した場合、画像URLは必ず入力してください。1~127文字の半角英数字、記号が使えます。(☞ 189ページ)</p> <p>● バナーをクリックしたときに表示させたいリンク先のURLを入力します。0~127文字の半角英数字、記号が使えます。(☞ 189ページ)</p>

※ ただし、[スペース]、[]、[]、[&]、[<]、[>]は使えません。

3 設定が終わったら **保存** をクリックする

- 新しく設定した内容が保存されます。
- 保存が完了すると"保存が完了しました。"と表示されます。

4 **画像表示設定画面へ** をクリックする

- 画像表示設定画面が表示されます。

複数台のカメラを登録する

マルチ画面で見えるためのカメラのIPアドレスやカメラ名を設定できます。マルチ画面でカメラ画像を見るには、最初にこの画面での設定が必要になります。最大12台まで登録できます。工場出荷値では、No.1に自カメラが登録されています。

1 設定画面で **マルチ画面** をクリックする

2 追加をクリックする

No.	状態	IPアドレスまたはホスト名	ポート番号	表示名
1	有効	selfcamera	--	*****
追加				



- 登録したカメラの番号をクリックするとカメラの編集画面が表示されます。登録したカメラの設定変更または削除ができます。
- 複数のカメラを設定しているときは、下の画面でカメラ表示No.を入れ替えます。番号を指定して **移動** をクリックしてください。

カメラの移動

No. を No. へ

3 データ入力欄にそれぞれの設定値を入力する

カメラの追加

状態	<input checked="" type="checkbox"/> 有効
IPアドレスまたはホスト名	<input type="text"/>
ポート番号 (1~65535まで)	<input type="text"/>
表示名 (半角15文字,全角7文字まで)	<input type="text"/>

[このリンクをクリックすると、このカメラの設定を入力します。](#)

- **戻る** をクリックすると、入力した設定値は保存されずに設定画面に戻ります。
- **このリンクをクリックすると、このカメラの設定を入力します。** をクリックすると、自カメラの設定が自動的に入力されます。このとき、ポート番号には「--」、表示名には品番が表示されます。

複数台のカメラを登録する

データ入力欄

設定項目	設定内容
状態	● マルチ画面でカメラ画像を見たいときは、「有効」にチェックを入れてください。
IPアドレス* ¹ またはホスト名* ² (URL)	● マルチ画面で表示するカメラのIPアドレスまたはホスト名を入力します。
ポート番号	● マルチ画面で表示するカメラのポート番号（1～65535）を入力します。
表示名* ³	● マルチ画面で表示するときのカメラの名前を入力します。この表示名はマルチ画面でのみ使用されます。

※1 IPv4のときは、192.168.0.253のように4つの数（0～255）と3つのピリオドで設定してください。（ただし“0.0.0.0”と“255.255.255.255”は使えません。）
IPv6のときは、ホスト名で指定してください。

※2 半角英数字、記号が使えます。（☞ 189ページ）ただし、[スペース]、["]、[']、[#]、[&]、[%]、[=]、[+]、[?]、[<]、[>] は使えません。
入力できる文字数は、1～255文字です。

※3 全角は、ひらがな、カタカナ、漢字、英数字、記号が使えます。

半角は、英数字、記号が使えます。（☞ 189ページ）

ただし、[スペース]、["]、[']、[#]、[&]、[%]、[=]、[+]、[?]、[<]、[>]、[:] は使えません。

入力できる文字数は半角（1～15文字）、全角（1～7文字）です。



● LAN（ローカルエリアネットワーク）内のパソコンからLAN内のカメラ画像を見るときは、プライベートアドレス、ポート番号を設定してください。

● インターネットからカメラ画像を見るときは、ホスト名（またはグローバルアドレス）、ポート番号を設定してください。

4 設定が終わったら **保存** をクリックする

- 新しく設定した内容が保存されます。
- マルチ画面設定画面が表示されます。

カメラ画像を公開する時間を指定する

カメラ画像を公開する曜日、時間帯を設定できます。公開時間以外の時間帯では、青の画像が表示されます。



設定に失敗すると、意図していない画像を見られる恐れがあります。必ず設定したあとに動作を確認してください。



管理者としてアクセスしているときは、公開時間外でもカメラ画像を見られます。

- 1 設定画面で **公開時間** をクリックする
- 2 公開時間設定No.を選び、その番号をクリックする

公開時間設定									
No.	状態	日	月	火	水	木	金	土	公開時間
1	無効	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	常時
2	無効	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	常時
3	無効	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	常時
4	無効	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	常時
5	無効	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	常時
6	無効	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	常時
7	無効	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	常時



1～7の設定がすべて無効の場合は、カメラ画像は常時表示されます。

- 3 「有効」にチェックして、公開時間を設定する

公開時間設定																			
有効	日	月	火	水	木	金	土	公開時間											
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="radio"/> 常時	<input type="radio"/> 午前	0	時	0	分	～	<input type="radio"/> 午前	0	時	0	分
保存 戻る																			

- **戻る** をクリックすると、前の画面に戻ります。

カメラ画像を公開する時間を指定する

データ入力欄

設定項目	設定内容
有効	●「有効」にチェックを入れると、設定が有効になります。チェックをはずすと、無効になります。
曜日	●それぞれの曜日ボックスにチェックを入れると、その曜日が有効になります。チェックをはずすと、無効になります。
公開時間	●時間帯を指定しないときは「常時」にチェックを入れてください。指定するときは時間指定欄のボックスにチェックを入れて時間帯を設定してください。

4 設定が終わったら **保存** をクリックする

- 新しく設定した内容が保存されます。
- 公開時間設定画面が表示されます。

■ 公開時間の設定について

公開時間の設定で「有効」に設定した時間帯はすべて優先されます。従って、次の画面のように月曜日や火曜日を「無効」にしている場合でも、ほかの設定でその時間を「有効」にしていれば、カメラ画像を見られます。

No.	状態	日	月	火	水	木	金	土	公開時間
1	有効	○	○		○	○	○	○	常時
2	有効	○		○	○	○	○	○	常時

I/Oコネクターの出力端子を使う

I/Oコネクターのデジタル出力端子を使って、外部機器をコントロールできます。出力信号の初期値を設定できます。



カメラに外部機器を取り付ける必要があります。

- 1 設定画面で **外部出力** をクリックする
- 2 設定が終わったら、 **保存** をクリックする

デジタル信号出力初期状態

開放

短絡

名称変更

開放 (半角1~6文字, 全角1~3文字)

短絡 (半角1~6文字, 全角1~3文字)

- 新しく設定した内容が保存されます。
- 保存が完了すると"保存が完了しました。"と表示されます。
- **元に戻す** をクリックすると、入力した設定は保存されずに変更前の設定に戻ります。

データ入力欄

設定項目	設定内容
デジタル信号出力初期状態	●「開放」にチェックすると、内部トランジスタがオフになり、外部出力端子は、ハイインピーダンスになります。(オープンコレクタ)「短絡」にチェックすると、内部トランジスタがオンになります。電氣的にGNDにショートされた状態になり外部出力端子はローインピーダンス(O V)になります。
名称変更	●操作バーにある外部出力ボタンの名称を変更できます。接続した外部機器に合わせて表現を変更できます。

- 3 設定画面で **外部出力設定画面へ** をクリックする
 - 外部出力設定画面を表示します。

インジケータの動作を変更する

インジケータの点灯方法を設定できます。誰かがカメラにアクセスしているときのみ点灯させたり、常時消灯させたりできます。工場出荷値では「点灯 (常時)」になっています。

- 1 設定画面で **インジケータ** をクリックする
- 2 インジケータの制御方法を選ぶ

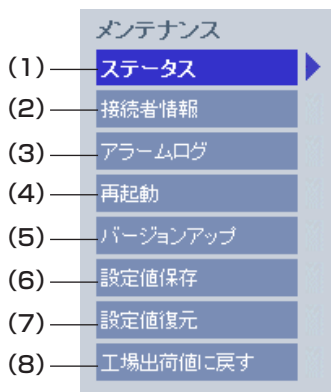
- 「点灯 (常時)」にチェックすると、常にインジケータが点灯または点滅します。(※ 9ページ[BB-HCM381の場合]、11ページ[BB-HCE481の場合])
- 「点灯 (アクセス時)」にチェックすると、ユーザーがアクセスしているときのみインジケータが緑に点灯します。
- 「消灯 (常時)」にチェックすると、常にインジケータが消灯します。
- **元に戻す** をクリックすると、入力した設定は保存されずに変更前の設定に戻ります。



消灯にすると、ネットワークと接続していても点灯しなくなります。

- 3 設定が終わったら **保存** をクリックする
 - 新しく設定した内容が保存されます。
 - 保存が完了すると"保存が完了しました。"と表示されます。
- 4 **インジケータ設定画面へ** をクリックする
 - インジケータ設定画面が表示されます。

カメラのメンテナンスを行う



[メンテナンス]

- | | |
|--------------|---------------------------|
| (1) ステータス | カメラの設定／動作状態を表示 |
| (2) 接続者情報 | カメラに接続している接続者の情報表示 |
| (3) アラームログ | アラームログの表示 |
| (4) 再起動 | 設定値を保存したままの再起動 |
| (5) バージョンアップ | 最新のファームウェアへの更新 |
| (6) 設定値保存 | 設定ファイル作成 |
| (7) 設定値復元 | 設定ファイルからの設定復元 |
| (8) 工場出荷値に戻す | すべての設定値を工場出荷時の値に戻す（時計を除く） |

カメラの状態（ステータス）を確認する

カメラの状態（ステータス）を確認できます。トラブル発生時の状況確認などに役立ちます。

メンテナンス画面で **ステータス** をクリックする

バージョン

本製品のハードウェアのモデル情報、およびソフトウェアのバージョン情報が表示されます。

モデル情報	*****
ファームウェア(ブート)	***
ファームウェア(アプリケーション)	***



ステータス画面の表示内容については、パナソニックのサポートウェブサイト (<http://panasonic.biz/netsys/netwkcams/support/>) を参照してください。

カメラのメンテナンスを行う

カメラへの接続者情報を知る

カメラに接続している接続者の情報を表示します。動画と音声の現在の接続セッション数（それぞれ最大30と10の接続セッション数）と、現在の接続者情報（最大40件）を知ることができます。

メンテナンス画面で **接続者情報** をクリックする

セッション数		
動画と音声の現在の接続セッション数を表示します。		
区分	最大接続数	現在の接続数
動画	30	4
音声	10	1
接続者リスト		

アラームログを確認する

アラームログを表示します。新しい順に最大50件のアラームログを表示します。アラームログが50件を超える場合は、古い順に消去されます。

メンテナンス画面で **アラームログ** をクリックする

アラームログ		
アラームログを新しい順に最大50件表示します。アラームログが50件を超える場合は、古い順から順次消去されます。		
注:一時保存/転送で一時保存(上書きなし)を選択した場合、メモリーがいっぱいになるとアラームログは更新されません。		
		新着アラームログ件数
		3
日時	センサーの種類	信号の種類
2005/5/19 13:24:22	動作検知	----

- 電源を切ると、アラームログは消去されます。

項目	内容
新着アラームログ件数	● 新着アラームログ件数を表示します。
日時	● アラーム1、アラーム2、動作検知が反応した日時を表示します。
センサーの種類	● 動作条件設定画面の動作条件設定（アラーム1、アラーム2、動作検知）を表示します。
信号の種類	● アラーム1またはアラーム2を設定している場合、動作条件設定画面の「検知する信号」を表示します。

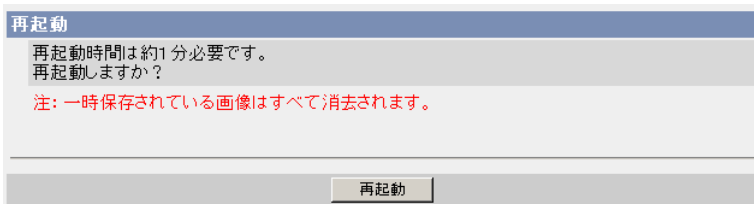
カメラのメンテナンスを行う

カメラを再起動する

メンテナンス画面で、カメラを再起動できます。電源の入/切によって再起動することもできます。(☞ 13ページ)

1 メンテナンス画面で **再起動** をクリックする

2 **再起動** をクリックする



- 再起動時間は約1分です。

再起動後、トップ画面が表示されます。



- 再起動すると、内部メモリーにある一時保存画像はすべて消去されます。SDメモリーカードに保存されている画像は消去されません。
- アラームログは消去されます。

カメラのメンテナンスを行う

カメラをバージョンアップする

カメラのファームウェアを最新のバージョンに更新できます。新機能や不正な攻撃に対するセキュリティに関する新しいファームウェアが公開されたときに、バージョンアップできます。



バージョンアップ中は、決して電源を切らないでください。



- 現在のファームウェアのバージョンは、トップ画面またはステータス画面で確認できます。
- バージョンアップすると、内部メモリーにある一時保存画像はすべて消去されます。SDメモリーカードに保存されている画像は消去されません。
- アラームログは消去されます。

1 最新のファームウェアをパナソニックのサポートウェブサイトからダウンロードして、パソコンのハードディスクに保存する

- サポートウェブサイト：

<http://panasonic.biz/netsys/netwcam/support/>

2 メンテナンス画面で **バージョンアップ** をクリックする

3 **バージョンアップ** をクリックする

バージョンアップ

バージョンアップは、お客様の使用している環境に左右されますが約4分必要です。
バージョンアップしますか？

注：(1)一時保存されている画像はすべて消去されます。
(2)バージョンアップ中は電源を切断しないでください。

バージョンアップ

- カメラが再起動します。

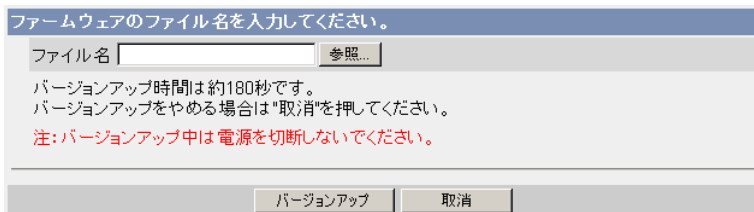
再起動中...

再起動時間は約1分です。

自動的に画面が表示されない場合には、URLに直接IPアドレスを入力してください。

カメラのメンテナンスを行う

- 約1分後に、バージョンアップ画面が表示されます。



4 参照.. をクリックする

- ファイルの選択ダイアログボックスが表示されます。

5 ファイル一覧からインストールしたいファイル（ファームウェアを保存したときのディレクトリ情報を含む）を選び **開く(O)** をクリックする

- 選んだファイルがファームウェアのファイル名入力欄に表示されます。新しいファームウェアのファイル名がわかっている場合は、ファイル名入力欄に直接入力できます。

6 新しいファームウェアのファイル名を確認後、**バージョンアップ** をクリックする

- バージョンアップを中止する場合には、**取消** をクリックします。
- **取消** をクリックすると、バージョンアップせずにトップ画面に戻ります。

カメラのメンテナンスを行う

- バージョンアップの間、次のメッセージが表示されます。

バージョンアップ中...

残り時間は約160秒です。

注:バージョンアップ中は電源を切断しないでください。

- 終了すると自動的に再起動します。

再起動中...

再起動時間は約1分です。

自動的に画面が表示されない場合には、URLに直接IPアドレスを入力してください。

- 再起動時間は約1分です。

再起動後、トップ画面が表示されます。

7 最新のバージョンに更新されていることを、トップ画面で確認する



- バージョンが更新されていれば、バージョンアップは完了しています。

カメラのメンテナンスを行う

現在のカメラ設定を設定ファイルに保存する

設定ファイルを作成し、パソコンに保存します。設定ファイルを作成しておけば、設定値復元機能を使い、カメラをその設定に戻せます。



保存された情報には個人情報や管理者情報が含まれており、第三者に漏えいすると不正アクセス、情報漏えい、改ざんなどにつながる恐れがあります。自己の責任で適切に管理してください。

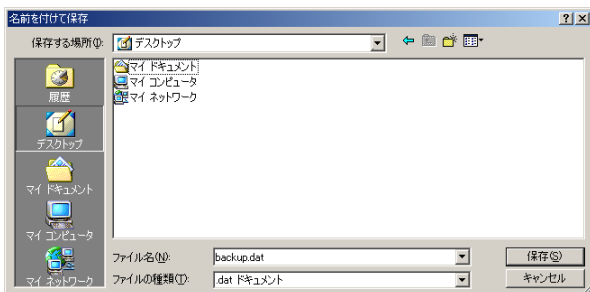
1 メンテナンス画面で **設定値保存** をクリックする

2 **保存** をクリックする



3 ファイルのダウンロードダイアログボックスが表示されるので、**保存** をクリックする

4 保存する場所を指定して **保存** をクリックする



● 指定した場所に設定ファイルが保存されます。



- ファイル名は変更できますが、拡張子 (.dat) は変更できません。拡張子を変更すると、設定の復元ができなくなります。
- カメラのファームウェアを最新のバージョンに更新したあとで設定ファイルを作成してください。設定ファイルの作成元カメラと設定ファイルの復元先カメラにおいてファームウェアのバージョンが異なると、設定がカメラに復元されない場合があります。

カメラのメンテナンスを行う

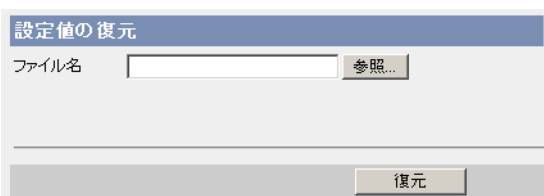
カメラ設定を設定ファイルから復元する

作成した設定ファイルを指定して、カメラをその設定に戻せます。カメラを工場出荷値に戻したとしても、この設定値復元機能を使うことにより、その設定に戻せます。

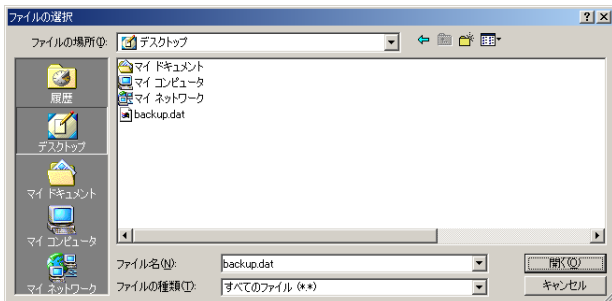


- 設定ファイルには、ネットワーク設定も保存されます。復元するときは、保存したときのネットワーク設定になります。
- カメラのファームウェアを最新のバージョンに更新したあとで設定ファイルを作成してください。設定ファイルの作成元カメラと設定ファイルの復元先カメラにおいてファームウェアのバージョンが異なると、設定がカメラに復元されない場合があります。

- 1 メンテナンス画面で **設定値復元** をクリックする
- 2 **参照...** をクリックする



- 3 ファイル一覧から復元したいファイルを選び **開く** をクリックする



- 選んだファイルがファイル名入力欄に表示されます。

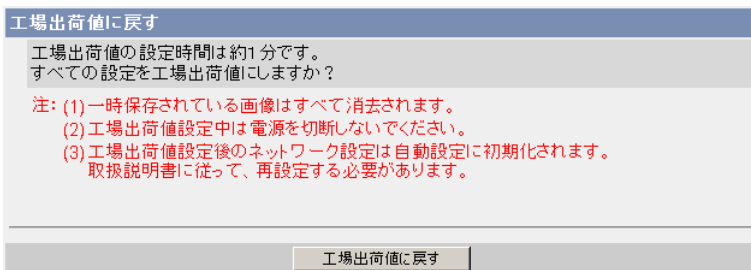
- 4 設定ファイル名を確認して **復元** をクリックする
 - 5 **再起動** をクリックする
- カメラが再起動し、トップ画面が表示されます。

カメラのメンテナンスを行う

カメラ設定を工場出荷値に戻す

この機能を実行すると各設定内容を工場出荷値に戻せます。
工場出荷値に戻したいときなどにご使用ください。

- 1 メンテナンス画面で **工場出荷値に戻す** をクリックする
- 2 **工場出荷値に戻す** をクリックする



- インジケータが以下の動作をします。
オレンジに点滅→消灯 (約10秒間)
- カメラのすべての設定値 (ID、パスワード、IPアドレス、サブネットマスクを含む) を、工場出荷値に戻します。
- 「工場出荷値に戻す」を実行すると、ネットワークの設定は「自動設定」になります。「かんたんガイド」を参照して、設定し直してください。

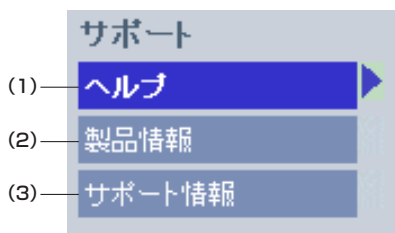


実行中は、決して電源を切らないでください。



- 工場出荷値に戻しても、時刻はそのままですが、時刻表示設定は12時間制 (工場出荷値) に戻ります。24時間制で表示する場合は、時計設定画面で設定し直してください。(☞ 75ページ)
- 工場出荷値は、163～167ページを参照してください。
- CLEAR SETTING ボタンを約1秒押すことによっても、工場出荷値に戻せます。(☞ 162ページ)
- 工場出荷値に戻すと、内部メモリーにある一時保存画像はすべて消去されます。SDメモリーカードに保存されている画像は消去されません。
- アラームログは消去されます。
- 工場出荷値に戻す作業は、約1分かかります。

サポート画面について



[サポート]

- | | |
|------------|-------------------|
| (1) ヘルプ | ヘルプ画面の表示 |
| (2) 製品情報 | 製品情報ページへのリンクの表示 |
| (3) サポート情報 | サポート情報ページへのリンクの表示 |

ヘルプ画面を見る

カメラの「操作画面」の項目や機能についての説明を表示します。

サポート画面で **ヘルプ** をクリックすると、次の画面が表示されます。

[目次]

- [1. トップ](#)
- [2. シングル](#)
- [3. マルチ](#)
- [4. 一時保存画像](#)
- [5. サポート](#)
- [6. ログイン](#)

製品情報を参照する

パナソニックのサポートウェブサイトの中にある製品情報ページを参照できます。

サポート画面で **製品情報** をクリックするとURLが表示されるので、そのURLをクリックする。



インターネットに接続していない場合、画面表示できません。

サポート画面について

サポート情報を参照する

パナソニックのサポートウェブサイトの中にあるサポート情報ページ、または、みえますねっとサービスのウェブサイトを参照できます。

サポート画面で **サポート情報** をクリックするとURLが表示されるので、そのURLをクリックする。

本製品のサポート情報

<http://panasonic.biz/netsys/netwcam/support>

みえますねっとサポート情報

お客様ご利用ドメイン、ご契約内容について【ログインが必要です】

<http://www.miemasu.net/index.php>

トラブルシューティングなどの一般的なサポート情報

<http://panasonic.biz/netsys/netwcam/support/miemasnet/index.html>



インターネットに接続していない場合、画面表示できません。

I/Oコネクタについて

アラームなどの外部機器をI/Oコネクタに接続すると、画像転送設定でアラームを設定した場合に、アラームの検知により、画像を転送できます。

I/Oコネクタの説明

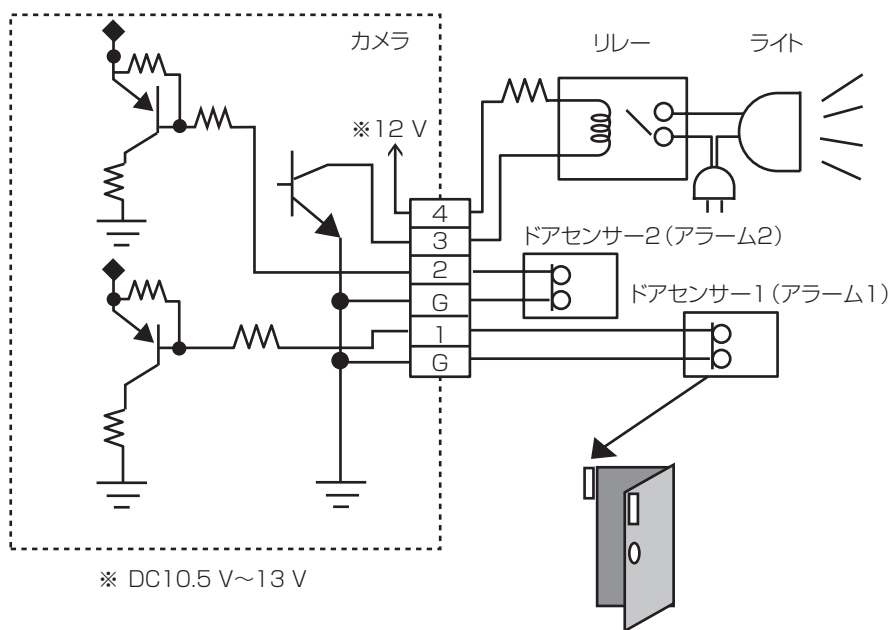
ピン	機能
G	GND
1	デジタル入力端子1 ● オープンまたはGNDに接続してください。
G	GND
2	デジタル入力端子2 ● オープンまたはGNDに接続してください。
3	デジタル出力端子 ● 外部出力の設定画面で操作できます。(P. 147ページ) ● オープンコレクタ出力回路になっています。電流は、DC電源出力電流(4番ピン)と同じです。印加電圧はDC電源出力電圧(4番ピン)を超えないようにしてください。
4	DC電源出力 ● 電源出力電圧 10.5 V~13.5 V ● 電源出力電流 100 mA



デジタル出力端子と入力端子とは、連動していません。

I/Oコネクタについて

回路接続の例



注意

I/Oコネクタに接続時は、各端子の電氣的仕様を守り、**確実に**行う (☞ 160ページ)



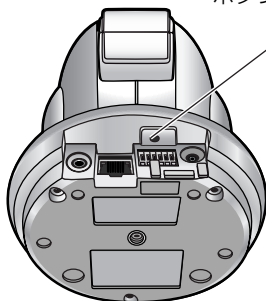
電流や電圧が仕様の数値を超えると感電の原因になる場合があります。

- DC電源 (4番ピン) とGND (G) は短絡させないでください。
カメラの電源が短絡して、カメラが故障する場合があります。
- わからないときは、必ずお買い上げの販売店にお問い合わせください。

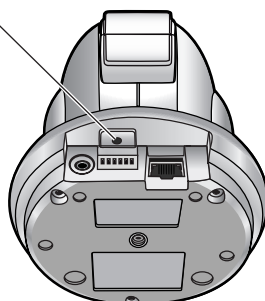
CLEAR SETTINGボタンについて

CLEAR SETTINGボタンはカメラの底面にあります。

CLEAR SETTINGボタン
(ペンなど、先端のとがったもので
ボタンを押す)



BB-HCM381



BB-HCE481

工場出荷値に戻す

設定した値やパスワードはCLEAR SETTINGボタンを押すことで、工場出荷値に戻せます。

ユーザー名やパスワードを忘れて、カメラにアクセスできなくなったときなどにご使用ください。

- 電源が入っているときにCLEAR SETTINGボタンを約1秒押し続けてください。
- インジケーターが以下の動作をします。

オレンジに点滅→消灯(約5秒間)

設定した内容やパスワードは消去され、工場出荷値に戻ります。



インジケーターが緑点灯状態になるまで、またはパン／チルトの初期動作が完了するまで決して電源を切らないでください。



- 工場出荷値に戻しても、時刻はそのままですが、時刻表示設定は12時間制(工場出荷値)に戻ります。24時間制で表示する場合は、時計設定画面で設定し直してください。(☞ 75ページ)
- CLEAR SETTINGボタンを押すと、内部メモリーにある一時保存画像はすべて消去されます。SDメモリーカードに保存されている画像は消去されません。
- アラームログは消去されます。
- 工場出荷値に戻す作業は、約1分かかります。

お買い上げ時の設定（工場出荷値）

項目		工場出荷値	設定が必要な場合	備考	
基本設定	ネットワーク (IPv4)	接続モード	自動設定	－	自動設定/Static設定/DHCP設定
		インターネット公開 (自動設定のみ)	非公開	－	－
		セットアップソフトウェアからの設定 (Static/DHCP設定のみ)	有効	－	－
		ポート番号 (Static/DHCP設定のみ)	80	－	ただし、20、21、25、110は使用できない ※2
		IPアドレス (Static設定のみ)	192.168.0.253	Static設定の場合	※1
		サブネットマスク (Static設定のみ)	255.255.255.0	Static設定の場合	※1
		ホスト名 (DHCP設定のみ)	設定なし	DHCPを使用する場合 (必須ではない)	0～63文字※4
		デフォルトゲートウェイ (Static/DHCP設定のみ)	設定なし	ゲートウェイを使用する場合	※1
		DNSサーバーアドレス1, DNSサーバーアドレス2 (Static/DHCP設定のみ)	設定なし	DNSを使用する場合	※1
		通信帯域制限 (Mbps)	制限しない	－	0.1、0.2、0.3、0.5、1、制限しない
		接続タイプ	自動	－	自動/100 Mbps全2重/100 Mbps半2重/10 Mbps全2重/10 Mbps半2重
基本設定	ネットワーク (IPv6)	接続モード	自動設定	－	自動設定/Static設定
		インターネット公開	非公開	－	－
		ポート番号 (Static設定のみ)	80	－	ただし、20、21、25、110は使用できない ※2
		IPアドレス (Static設定のみ)	設定なし	Static設定の場合	※1
		デフォルトゲートウェイ (Static設定のみ)	設定なし	ゲートウェイを使用する場合	※1
		DNSサーバーアドレス1, DNSサーバーアドレス2	設定なし	DNSを使用する場合	※1
		通信帯域制限 (Mbps)	制限しない	－	0.1、0.2、0.3、0.5、1、制限しない
		接続タイプ	自動	－	自動/100 Mbps全2重/100 Mbps半2重/10 Mbps全2重/10 Mbps半2重
基本設定	IPsec	使用する	チェックなし	－	－
		暗号化強度	標準 (AES, 3DES, DES, NULL 有効)	－	標準/高
		トランスポート	設定なし	－	－
		トンネル	設定なし	－	－

お買い上げ時の設定（工場出荷値）

項目		工場出荷値	設定が必要な場合	備考		
基本設定	UPnP™	自動ポートフォワーディング	無効	-	-	
		カメラへのショートカット	有効	-	-	
	ダイナミックDNS	ダイナミックDNS設定	使用しない	-	みえますねっと/ユーザー指定ダイナミックDNS/使用しない	
		ダイナミックDNSサーバーURL	設定なし	ユーザー指定ダイナミックDNSを利用する場合	半角1~255文字※8	
		更新時間	10分		起動時のみ、10分、30分、1時間、3時間、6時間、12時間、24時間	
		ユーザー名	設定なし		半角0~63文字※9	
		パスワード	設定なし		半角0~63文字※9	
		時計	日付	-	-	初期化されない
	表示切替		12時間制	-	12時間制/24時間制	
	時刻		-	-	初期化されない	
	自動調整を行う		チェックなし	NTPサーバーによる時計の自動調整を利用する場合	-	
	NTPサーバーのアドレスまたはホスト名		設定なし		IPアドレスは※1 ホスト名は1~255文字※4	
	タイムゾーン		GMT+09:00 日本	-	-	変更の必要なし
	カメラ	カメラ名	NetworkCamera	必須項目	半角1~15文字、 全角1~7文字 ※5	
		ホワイトバランス	自動	-	自動/屋内/蛍光灯 (白色) / 蛍光灯 (昼白色) / 屋外/ホールド	
		電源周波数	50 Hz	-	50 Hz, 60 Hz	
		最短焦点距離	5 mm	-	5 mm/1 m	
		設置タイプ	卓上	-	天井、卓上	
		パン範囲指定 (最小)	卓上	-175度	-	-175~+175度
				(ホームポジション)	0度	-
(最大)				+175度	-	-175~+175度
チルト範囲指定 (最小)		卓上	-120度	-	-120~0度	
			(ホームポジション)	-90度	-	-120~0度
			(最大)	0度	-	-120~0度
天井 (最小)		卓上	チェックなし	-	-	
			(ホームポジション)	0度	-	0~+90度
			(最大)	+90度	-	0~+90度
天井 (最大)	卓上	+90度	-	0~+90度		
		+90度	-	0~+90度		

お買い上げ時の設定（工場出荷値）

項目		工場出荷値	設定が必要な場合	備考	
基本設定	カメラ	指定ポジション復帰 指定時間	指定しない	-	指定しない、10分、30分、1時間
		指定ポジション	ホームポジション	-	ホームポジション/プリセット1~20/アラーム1、2
		カラーナイトビューモード	禁止	-	許可/禁止
		垂直解像度（ドット）	480	-	480、240
	音声	出力（パソコンのマイク入力）	する	-	する/しない
		音量	標準	-	最小/標準/最大
		連続受信時間	1分	-	1、2、3、5、10、20、30、60（分）
		入力（パソコンのスピーカー出力）	する	-	する/しない
		感度	標準	-	最小/標準/最大
		パン（左右）/チルト（上下）中のミュート	しない	-	する/しない
ユーザー設定	管理者	認証設定	未登録ユーザーを禁止	-	-
		ユーザー名	設定なし	管理者を設定する場合	6~15文字 ※3
		パスワード	設定なし	管理者を設定する場合	6~15文字 ※3
		パスワード再入力	設定なし	管理者を設定する場合	6~15文字 ※3
	一般ユーザー	一般ユーザー名一覧	設定なし	-	-
		ユーザー名	設定なし	一般ユーザーを設定する場合	6~15文字 ※3
		パスワード	設定なし	一般ユーザーを設定する場合	6~15文字 ※3
		パスワード再入力	設定なし	一般ユーザーを設定する場合	6~15文字 ※3
		動画表示時間	表示しない	-	表示しない、制限しない、10、30（秒）、1、5、10、30、60（分）
		静止画更新間隔	3秒	-	3、5、10、30、60（秒）
機能許可設定	すべてチェックなし	-	-		
一時保存/転送	動作条件	状態	無効	-	-
		動作条件	タイマー	-	タイマー/アラーム1/アラーム2/動作検知
		動作時間	常時	-	-
		画像設定 解像度（ドット）	320×240	-	160×120、320×240、640×480
		画質	標準	-	画質優先、標準、動き優先、携帯電話用
		間隔指定	1秒間に1枚	-	1時間に1枚~1秒間に30枚

お買い上げ時の設定（工場出荷値）

	項目	工場出荷値	設定が必要な場合	備考	
一時保存／転送	動作条件	転送条件	一時保存 (上書きなし)	-	
		通知	なし	アラーム1、アラーム2、 動作検知を選択する場合	
	動作検知 感度	しきい値	左端から3つ目	-	-
		感度	中央	-	-
	アラームログ 通知	動作設定	通知しない	動作条件設定に、 アラーム1、アラーム 2、または、動作 検知を設定する場合	通知しない/通知する(新着ア ラームログがない場合：通知 しない)/通知する(新着アラーム ログがない場合：通知する)
		日時設定	チェックあり		-
		通知時間	午後0時0分		午前/午後、0~11、 0/10/20/30/40/50
		アラームログ通知先設定	-		-
ポート番号		25、110	-		
件名		アラームログ	-		
認証方法	認証なし	認証なし	認証なし、POP before SMTP認証、SMTP認証		
その他の 設定	画像表示	シングル画面の解像度 (ドット)	320×240	-	320×240、640×480
		シングル画面の画質	標準	-	画質優先、標準、動き優先
		シングル画面の画像 更新間隔	動画	-	3、5、10、30、60 (秒)、 動画
		マルチ画面の解像度 (ドット)	320×240	-	160×120、320×240
		マルチ画面の画質	標準	-	画質優先、標準、動き優先
		マルチ画面の画像更新間隔	動画	ネットワーク上の データを減らすとき	3、5、10、30、60 (秒)、 動画
		時刻表示設定	表示しない	-	表示する/表示しない
		表示言語設定	日本語	-	英語/日本語/フランス 語/ドイツ語/イタリア 語/スペイン語/中国語/ ロシア語/韓国語
		バナー表示設定	チェックなし	バナーを表示させるとき	-
		表示対象	全ユーザー表示	-	全ユーザー表示、管理者の み表示、一般ユーザーのみ 表示
		画像URL	設定なし	-	半角1~127文字※4
		リンク先URL	設定なし	-	半角0~127文字※4

お買い上げ時の設定（工場出荷値）

項目		工場出荷値	設定が必要な場合	備考	
その他の設定	マルチ画面	マルチ画面設定	No.1に自カメラ登録	-	
		状態	有効	マルチ画面の設定をする場合	
		IPアドレスまたはホスト名	selfcamera	マルチ画面の設定をする場合	IPアドレスは ※1 ホスト名は1~255文字 ※6
		ポート番号	--	マルチ画面の設定をする場合	ただし、20、21、25、110は使用できない ※2
		表示名	BB-HCM381/ BB-HCE481	マルチ画面の設定をする場合	半角1~15文字、 全角1~7文字 ※7
		カメラの移動	No.1をNo.1へ	登録済みカメラの順序を入れ替える場合	No.1-No.12
	公開時間	公開時間設定	常時	-	-
	外部出力	デジタル信号出力初期状態	開放	-	開放/短絡
		名称変更	開放	-	-
			短絡	-	-
	インジケータ	インジケータ制御	点灯(常時)	-	点灯(常時)/点灯(アクセス時)/消灯(常時)

- ※1 IPv4のときは、192.168.0.253のように4つの数字（0~255）と3つのピリオドで設定してください。（ただし、“0.0.0.0”と“255.255.255.255”は使えません。）IPv6のときは、8つの16進数値を“:”で区切って表します。連続する“0”は“::”と省略して表せます。（例 2001:2:3:4::5）
- ※2 設定は1~65535の範囲です。
- ※3 半角英数字、記号が使えます。（☞ 189ページ）ただし、[スペース]、[] [], [&], [<], [>], [:] は使えません。
- ※4 半角英数字、記号が使えます。（☞ 189ページ）ただし、[スペース]、[], [], [&], [<], [>] は使えません。
- ※5 全角は、ひらがな、カタカナ、漢字、英数字、記号が使えます。半角は、英数字、記号が使えます。（☞ 189ページ）ただし、[スペース]、[], [], [&], [<], [>] は使えません。
- ※6 半角は、英数字、記号が使えます。（☞ 189ページ）ただし、[スペース]、[], [], [#], [&], [%], [=], [+], [?], [<], [>] は使えません。
- ※7 全角は、ひらがな、カタカナ、漢字、英数字、記号が使えます。半角は、英数字、記号が使えます。（☞ 189ページ）ただし、[スペース]、[], [], [#], [&], [%], [=], [+], [?], [<], [>], [:] は使えません。
- ※8 半角英数字が使えます。（☞ 189ページ）ただし、[スペース]、[]は使えません。先頭文字列がhttp://でない場合はエラーとなります。
- ※9 半角英数字が使えます。（☞ 189ページ）ただし、[], [:]は使えません。

お手入れについて

お手入れは、電源を切って（☞ 13ページ）行ってください。

本体

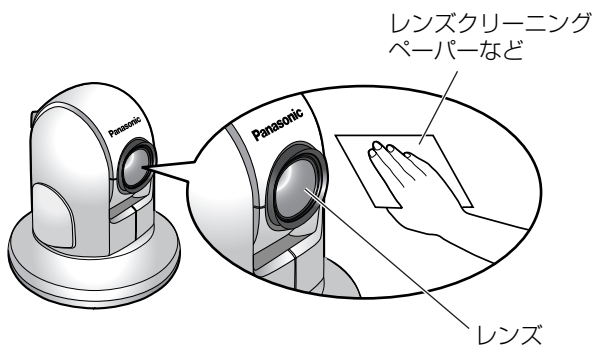
乾いた布でからぶきしてください。



- アルコール類、みがき粉、粉せっけん、ベンジン、シンナー、ワックス、石油、熱湯は使わないでください。また、ガラスクリーナー、殺虫剤、ヘアスプレーなどをかけないでください。（変色、変質の恐れがあります。）

レンズ

カメラのレンズに汚れがつくと、画質が悪くなったり、ピントが合いにくくなる原因になります。市販のレンズブローアなどでホコリを落としたあと、市販のレンズクリーニングペーパーなどでよごれを落としてください。



- レンズに直接触れないでください。（指紋がついてしまうと、焦点がぼける原因となります。）

パソコンのIPアドレスを設定する

下記の手順でパソコンのIPアドレスを設定できます。

- 1 パソコンのTCP/IPプロパティの画面を開く
 - TCP/IPのプロパティの開きかたは、パソコンのOSによって下記のように異なります。

OS	手順
Windows XP	[スタート] (→ [設定]) → [コントロールパネル] → [ネットワーク接続] → [ローカルエリア接続] → [プロパティ] → [インターネットプロトコル (TCP/IP)] を選択 → [プロパティ] → [次のIPアドレスを使う]
Windows 2000	[スタート] → [設定] → [コントロールパネル] → [ネットワークとダイヤルアップ接続] → [ローカルエリア接続] → [プロパティ] → [インターネットプロトコル (TCP/IP)] を選択 → [プロパティ] → [次のIPアドレスを使う]
Windows Me、Windows 98SE	[スタート] → [設定] → [コントロールパネル] → [ネットワーク] → [TCP/IP] を選択 → [プロパティ] → [IPアドレス] → [IPアドレスを指定]

- Windows XP、Windows 2000は、アドミニストレーターが行ってください。アドミニストレーターでないと、TCP/IPプロパティの画面を開けません。

2 IPアドレス、サブネットマスクを入力する

3 **OK** をクリックする

- Windows Me、Windows 98SEは、TCP/IPのプロパティを有効にするためにパソコンの再起動が必要になります。

セットアップソフトウェアを使う

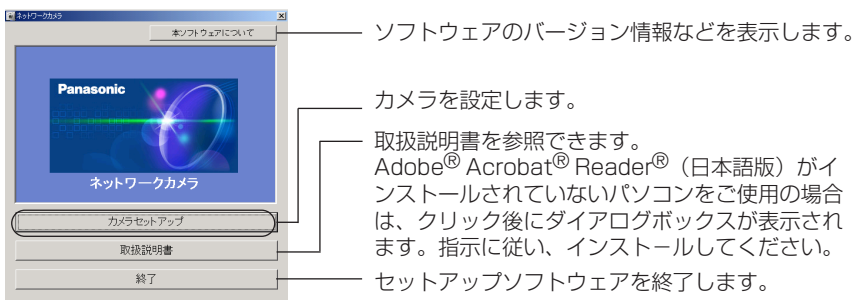
セットアップソフトウェアを使うと、次のことができます。

- 同じネットワークに接続されているカメラを検索し、IPアドレス、ポート番号を知ることができる。
- カメラを自動で設定する。
- カメラを手動設定でStaticまたはDHCP設定にする。
- IPsecを解除する。
- カメラの設定画面を表示する。

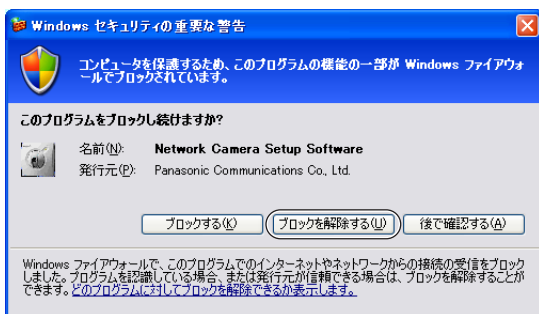
■ カメラを検索する

1 付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブに入れる
(設定画面が表示されない場合は、CD-ROM内の **"Setup.exe"** ファイルをダブルクリックしてください)

2 **カメラセットアップ** をクリックする



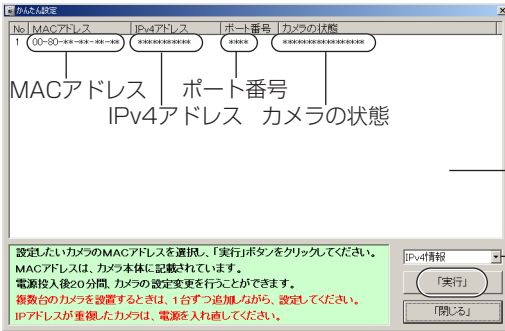
- 次のダイアログが表示される場合は、**ブロックを解除する** をクリックしてください。



セットアップソフトウェアを使う

- 検索したいカメラのMACアドレスと同じものを次のカメラリスト画面で探すことで、IPアドレス、ポート番号を知ることができます。

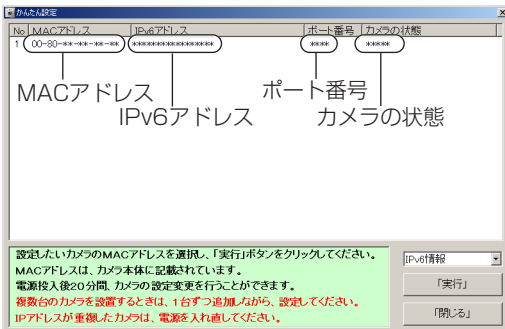
IPv4情報のとき



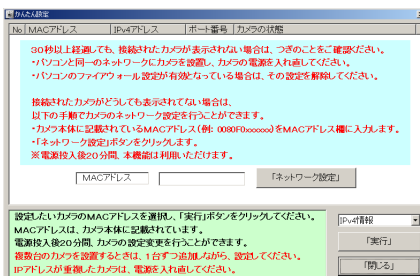
カメラリスト画面

IPv4とIPv6の情報を切り替えられます。

IPv6情報のとき



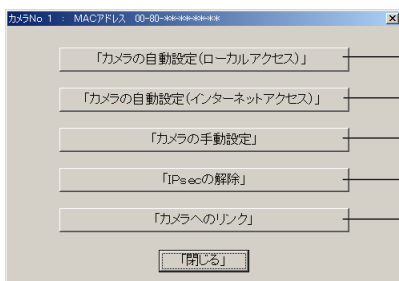
- 複数台のカメラを検索している場合は、カメラの底面にあるラベルに書かれたMACアドレスで照合できます。
- パソコンのファイアウォール設定の影響でカメラリスト画面上にカメラが表示されない場合があります。そのようなときは、以下の画面上でMACアドレスを入力することで、カメラ設定ができます。



セットアップソフトウェアを使う

■ カメラを設定する

- 1 前ページのカメラリスト画面で設定したいカメラを選び、**実行** をクリックする
- 2 それぞれのボタンをクリックして、実行する

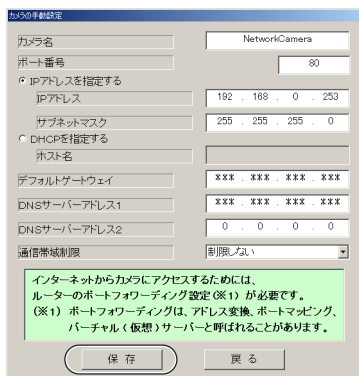


- LANから見えるようにカメラを自動設定します。
- インターネット経由で見えるようにカメラを自動設定します。
- 手でネットワーク設定を行います。
- IPsec機能を解除します。
- カメラの設定画面を表示します。(☞ 43ページ)

「カメラの手動設定」を行うとき

48～49ページを参照して設定項目を設定したあと、**保存** をクリックする

- 電源を入れてから20分以上経過したカメラは設定できません。設定できない場合は、カメラを再起動してください。(☞ 151ページ)



- "カメラの設定が完了しました。"と表示されたら、**閉じる** をクリックして手動設定を完了する

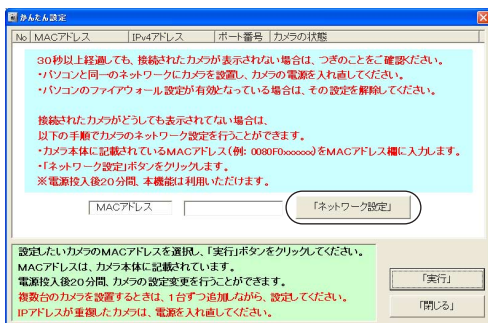
- 3 すべてのセットアップソフトウェア設定画面を閉じて、終了する

セットアップソフトウェアを使う

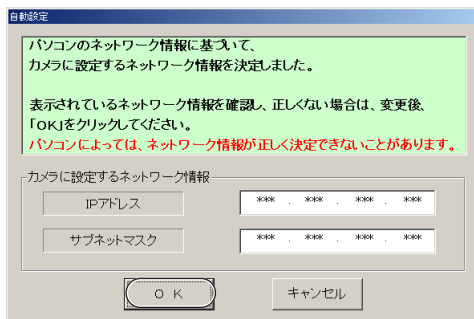
MACアドレスを使ってカメラを設定する

パソコンのファイアウォール設定などにより、カメラリスト画面にカメラが表示されない場合があります。ファイアウォールを解除できない場合は、カメラのMACアドレス（※ 10ページ[BB-HCM381の場合]、12ページ[BB-HCE481の場合]）を使って設定できます。

1 カメラのMACアドレスを入力し、「ネットワーク設定」をクリックする

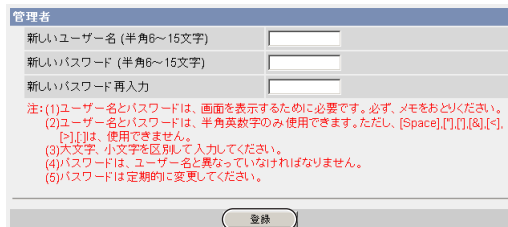


2 表示されているネットワーク情報を確認し、「OK」をクリックする



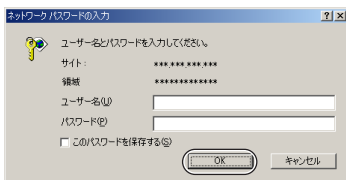
- 約1分後、管理者設定画面が表示されます。

3 ユーザー名とパスワードを設定し、「登録」をクリックする



セットアップソフトウェアを使う

- 4 再度、ユーザー名とパスワードの入力画面が表示されるので、手順3でユーザー名とパスワードを入力し、 **OK** をクリックする



- 5 カメラを使用する地域に合った電源周波数※を設定する
※ 電源周波数は、東日本50 Hz、西日本60 Hzです。

- 6 シングル画面が表示されれば、設定は完了しています
- セキュリティ警告画面が表示された場合は、 **はい(Y)** をクリックする。
(☞ 19ページ)
 - Microsoft Windows XP Service Pack 2をご使用の場合のセキュリティ警告画面については、20ページを参照してください。



ウェブブラウザのインターネット一時ファイル設定を「ページを表示するごとに確認する」にしてください。
(☞ 179ページ) 設定しない場合、古い画像が表示されるなどの現象が発生する場合があります。



シングル画面については、17ページを参照してください。

セットアップソフトウェアを使う

7 インターネット経由で見えるようにカメラを設定する

● UPnP™対応ルーターに接続している場合

- ① 自動ポートフォワーディングを有効にする (☞ 65ページ)
- ② ダイナミックDNSサービスに登録する (☞ 68ページ)
- ③ インターネット経由でカメラにアクセスする (☞ かんたんガイド)



アクセスできないときは、CD-ROM内の「困ったときには」の8～10ページを参照してください。

● UPnP™非対応ルーターに接続している場合

66ページを参照し、設定してください。

パソコンをセットアップする

プロキシサーバー使用時のウェブブラウザの設定

- プロキシサーバーを使用していないときは、以下の設定は必要ありません。
- プロキシサーバーを使用している場合は、次の設定が必要になります。
 - LAN (ローカルエリアネットワーク) 内に設置されたカメラと通信するときには、プロキシサーバーを使用しないようにウェブブラウザの設定を変更することをおすすめします。
 - 企業内のファイアウォールを備えたプロキシサーバーでは、カメラに直接接続できない場合があります。
上記の場合には、ネットワークやカメラの動作に影響が出ないように、ネットワーク管理者に相談することをおすすめします。

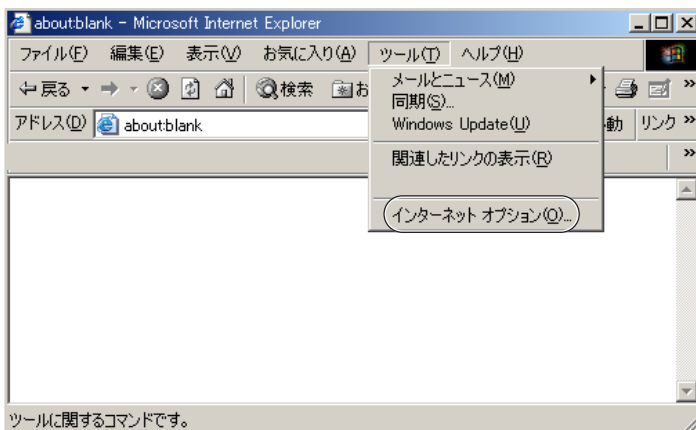


- プロキシサーバーは、インターネット接続されたネットワーク内のセキュリティ確保のために一般的に使用されます。
- プロキシサーバーを経由してカメラを使用すると、何らかの問題が生じる場合があります。設置の前に、ネットワーク管理者に相談することをおすすめします。
- プロキシサーバーを経由してカメラを使用する場合、画像更新速度（フレームレート）が低下する場合があります。

設定のしかた

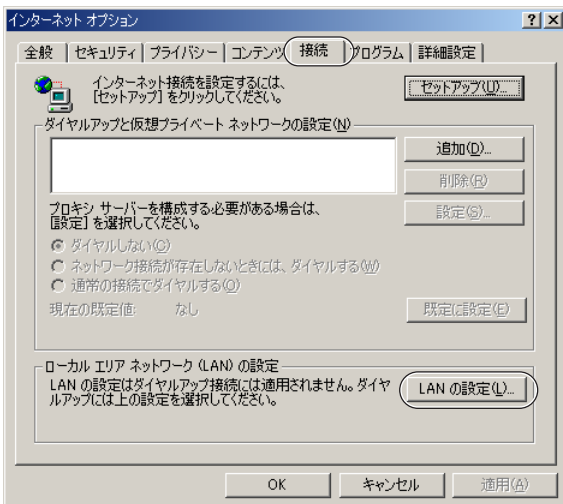
以下の手順は、Internet Explorer 6.0を使ったときのものです。

- 1 ウェブブラウザを起動する
- 2 「ツール」メニューから「インターネット オプション」を選ぶ

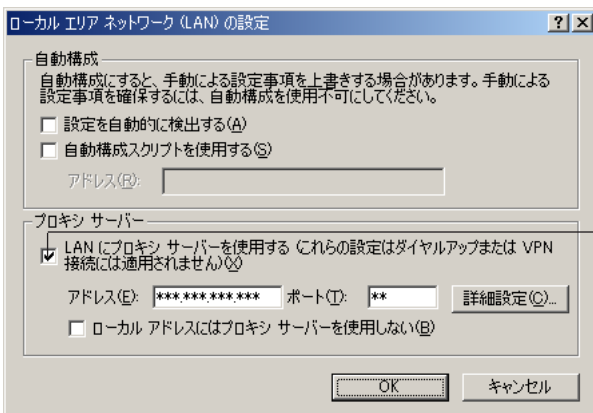


パソコンをセットアップする

3 「接続」 タブをクリックし、 LANの設定(L)... をクリックする



4 「LANにプロキシサーバーを使用する」のチェックボックスがチェックされているかどうかを確認する



- チェックボックスがチェックされていなかったら、設定をせずに **キャンセル** をクリックし設定を終了する
- チェックボックスがチェックされていたら、 **詳細設定(C)...** をクリックする
プロキシの設定ダイアログボックスが表示される

パソコンをセットアップする

- 5 カメラの "IPアドレス" を「次で始まるアドレスにはプロキシを使用しない(N) :」の入力欄に入力する



- 6 **OK** をクリックする



プロキシサーバーを経由してカメラにアクセスする場合は、カメラ画面の送話ボタンがグレー表示になり、音声の送話はできません。

パソコンをセットアップする

マイ ネットワークに「カメラへのショートカット」を表示するためのUPnP™設定

パソコンのマイ ネットワークに「カメラへのショートカット」を表示させるために、Windows コンポーネントを追加する必要があります。下記の手順に従い、UPnP™（ユニバーサル プラグ アンド プレイ）を有効にしてください。

OS	手順
Windows XP	[スタート] (→ [設定]) → [コントロール パネル] → [プログラムの追加と削除] → [Windows コンポーネントの追加と削除] → [ネットワーク サービス] を選択 → [詳細] → [ユニバーサル プラグ アンド プレイ] (UPnPユーザーインターフェース) にチェック → [OK] → [次へ] →完了
Windows Me	[スタート] → [設定] → [コントロール パネル] → [アプリケーションの追加と削除] → [Windows ファイル] タブ → [通信] を選択 → [詳細] → [ユニバーサル プラグ アンド プレイ] にチェック → [OK] → [OK] → [再起動] →完了



この機能は使用しているパソコンのOSがWindows XPまたはWindows Meのときのみ使用できます。

ウェブブラウザ (Internet Explorer) のインターネット一時ファイル設定

古いカメラ画像が表示されるなどの現象が起こる場合があるため、以下の手順で設定を行う必要があります。

[ツール] → [インターネット オプション] → [全般] タブ → インターネット一時ファイル欄の [設定] → 保存しているページの新しいバージョンの確認欄で [ページを表示するごとに確認する] にチェック → OK → OK → 完了

用語解説

英字

ActiveXコントロール

米国のMicrosoft社が開発したアプリケーション開発のための技術であるActiveXの主要技術の1つで、ウェブブラウザでアクセスしたサーバーからプログラムをダウンロードし、起動できるという特徴もっています。本機能により、通常のウェブブラウザがもたない機能を追加したウェブサイトの作成が可能になります。カメラでは、Internet Explorerで動画(MotionJPEG)を表示するために、ActiveXコントロールを使用しています。

AH

(Authentication Header)

IPsecにおいて認証機能のみをもつデータです。本製品は対応していません。

CCDセンサー

(Charge-Coupled Device Sensor)

光(光子)の入力に応じて蓄電容量が変化する半導体素子(フォトダイオード)を用いた、光(画像)信号を電気信号に変換するデバイスです。

DHCP

(Dynamic Host Configuration Protocol)

各パソコンがネットワークを利用するのに必要な情報をサーバーから自動的に取得するプロトコルです。DHCPサーバーは、ネットワークに関連した情報(IPアドレスの割り振り範囲やデフォルトゲートウェイなど)を保持しており、DHCPクライアントから要求がくると、それらの情報を割り振ります。

DNS

(Domain Name System)

ネットワーク環境で実際使用されるIPアドレスは、憶えにくく実用的ではありません。その解決法としてパソコンにわかりやすい名前(ドメイン名)をつけて、IPアドレスに変換して通信が行われます。ドメイン名では、たとえば“panasonic.jp”などがあります。

EUI-64アドレス

IPv6グローバルアドレスおよびIPv6リンクローカルアドレスの下位64ビットのアドレスに相当します。

ESP

(Encapsulated Security Payload)

IPsecにおいて暗号・認証機能をもつデータです。

用語解説

FTP (File Transfer Protocol)	インターネットやイントラネットなどのTCP/IPネットワークでファイルを転送するときに使われるプロトコルです。現在のインターネットでHTTPやSMTP/POP3と並んで頻繁に利用されているプロトコルです。
IKE (Internet Key Exchange)	IPsec通信で使用する鍵を、端末同士の間で自動的に決定するためのプロトコルです。
IPsec (アイ・ピー・セック)	IP securityの略です。TCP/IPで用いられるセキュリティ技術です。パケットの暗号化や認証に関するプロトコルが制定されており、セキュリティを強化したサービス提供が可能です。
IPsecポリシー	IPsec通信のためのルールです。どのパケットをどのように処理するかをあらかじめ定義しておくことです。
IPv4 (アイ・ピー・バイ・フォー)	Internet Protocol version 4の略です。IPv4は、現在のインターネットで利用されている標準のプロトコルで、32ビットのアドレス空間（42億9496万7296台の端末をサポートできる）をもっています。
IPv6 (アイ・ピー・バイ・シックス)	Internet Protocol version 6の略です。増加するインターネットの利用者に対応するため、現在のIP（IPv4）に代わるものとしてIETF（Internet Engineering Task Force）内のIPNGワーキンググループで準備が進められてきたプロトコルです。IPv6には、IPアドレスの128ビット化（IPv4は32ビット）、パケットヘッダの簡素化、セキュリティ機能の追加などが盛り込まれています。
IPv6グローバルアドレス	IPv6によるネットワークで、IPv6対応機器の間で通信するために必要なアドレスです。
IPv6プレフィックス	IPv6アドレスの上位64ビットのアドレスに相当します。ネットワークを識別するために使用されます。
IPv6リンクローカルアドレス	ルーターを越えずに同じLAN内でのみ使用できるアドレスです。本製品には、工場出荷時からIPv6リンクローカルアドレスが付与されています。

用語解説

- IPアドレス**
(Internet Protocol Address)
IPプロトコルで使用するためのアドレス情報です。IPで通信するすべてのネットワーク機器にはこのIPアドレスを割り振っておかなければなりません。特に、インターネットに接続されているネットワーク機器（端末）では、世界中でユニークな（単一な）IPアドレスを割り振っておく必要があります。
- JPEG**
(Joint Photographic Experts Group)
ITU-TS (国際電気通信連合：ITU-T)とISO (国際標準化機構)で定めたカラー静止画の圧縮、伸張を定める標準規格です。静止画を1/10～1/100に圧縮することができます。
- LAN**
(Local Area Network)
フロアの中や同一建物内、キャンパスの中など、比較的狭い地域でのコンピューターネットワークのことです。
- MAC アドレス**
(Media Access Control Address)
LANカードなどに固有でつけられている物理アドレスのことです。00:11:22:AA:BB:CC といった形式で表されます。同じMACアドレスをもつLANカードは存在しません。すべて異なる物理アドレスが割り振られています。
- Motion JPEG**
静止画であるJPEG画像を高速で圧縮・伸張処理し、連続的に表示することで動画のように見せる技術です。
- NTP**
(Network Time Protocol)
ネットワークに接続された製品の内部時計を、正しく調整するプロトコルです。階層構造をもち、最上位のサーバーがGPSなどを利用して正しい時刻を得て、下位のホストはそれを参照することで時刻を合わせることができます。
- PoE**
(Power over Ethernet)
イーサネットケーブルを利用してデータと電力を同時に供給する技術です。2003年6月に「IEEE802.3af」として規格化されています。「IEEE802.3af」に準拠している機器同士をイーサネットケーブルで接続することで電力が供給されるので、電源がない場所にもカメラなどを設置することができるようになります。
- PoE給電ハブ**
PoE (Power over Ethernet) 機能を持ったスイッチングハブのことです。接続用の各ポートより、最大15.4Wの電力をカメラなどの機器に供給することができます。

用語解説

POP3

(Post Office Protocol
Version 3)

インターネットやLANで、Eメールを受信するためのプロトコルです。クライアントが、メールサーバーからEメールを受信する際に用いられ、認証機能をもちます。この認証機能をSMTPでEメール送信する場合に、利用するメールサーバーもあります (POP before SMTP)。

Router Advertisement メッセージ

IPv6対応ルーターがIPv6プレフィックスを定期的に通知するためのプロトコルです。

SDメモリーカード

小型・軽量で、大きな記憶容量をもつ、着脱可能な外部メモリーカードです。カードへの書き込みやフォーマットを禁止する書き込み禁止スイッチを備え、SDMI (デジタル音楽著作権保護協会) の規格に対応可能な著作権保護機能をもっています。

SMTP

(Simple Mail Transfer
Protocol)

インターネットやLANでEメールを送信するためのプロトコルです。サーバー間でEメールの送受信をしたり、クライアントがサーバーにEメール送信する際に用いられます。

SMTP認証

(Simple Mail Transfer
Protocol Authentication)

Eメールを送信するSMTPサーバーは、ユーザーIDとパスワードによってユーザー認証を行います。プロバイダーがSMTP認証に対応していることが必要です。SMTP認証には、PLAIN方式、LOGIN方式やCRAM-MD5方式があります。

TCP/IP

(Transmission Control
Protocol/Internet
Protocol)

Transmission Control Protocol/Internet Protocolの略です。ネットワークプロトコルの1つです。UNIXワークステーションおよびインターネットにおける標準プロトコルです。

UPnP™

(Universal Plug and
Play)

UPnP™は、TCP/IPベースでネットワークデバイスの自動検出や情報交換などを行う技術です。UPnP™に対応するアプリケーションには、MSN Messenger 5.0以降、Windows Messenger 4.7以降などがあります。UPnP™ Forumによって仕様が策定されています。

URL

(Uniform Resource
Locator)

インターネット上のリソースを指定する方式です。具体例としては、インターネット上のウェブサイトにアクセスする際に使用する「http://panasonic.jp」のことです。

用語解説

VPN

(Virtual Private Network)

インターネットを経由するにもかかわらず、拠点間を専用線のように相互に接続し、安全な通信を可能にするセキュリティ技術です。コストのかかる専用線の代替になる新しい通信技術として、企業を中心に浸透しています。VPNを利用した通信を行うには、接続点にVPN機能を備えた専用装置が必要ですが、ルーターやファイアウォールにその機能が含まれているものもあります。

xDSLモデム

アナログ電話用の1対の銅線を使って、高速なデータ通信を行うために、ADSL技術が開発されました。そのほかの用途や、最大転送レートなどに応じて開発されたいくつかの派生的な技術を総称してxDSLと呼びます。それらをインターネットに接続するための装置です。

あ

イーサネット

(Ethernet)

Xerox社などによって開発されたLAN通信方式です。

イーサネットハブ

イーサネットで用いられる集線装置です。8ポートや4ポートなどポート数はさまざまです。

インストール

ハードウェアやソフトウェアをシステムに新しく組み込むことです。たとえば拡張カードを追加したり、OSなどの新しいソフトウェアをシステムに組み込むときに用いられます。

インターネット

地球規模でマルチメディア通信ができるネットワークです。プロバイダーがインターネットへの接続サービスを行っています。

ウェブブラウザ

ウェブサーバーにアクセスするためのクライアント・プログラムです。Microsoft社のInternet Explorerなどがあります。

か

クロスケーブル

イーサネットハブなどを介さず直接パソコン同士を1対1で接続することができるように作られたイーサネットケーブルの種類です。

用語解説

グローバルアドレス (Global address)

インターネットに接続された機器に1つ1つ割り振られたIPアドレスです。インターネット上の住所に相当するもので、インターネット通信の際には必ず使用されます。グローバルアドレスはIANA (internet assigned numbers authority) が一元的に管理し、各国のNIC (日本ではJPNIC) プロバイダーなどの各組織に割り振られます。

ケーブルモデム

CATVの回線を使って、インターネットに接続するための装置です。電話回線におけるモデムの役割を果たすため、ケーブルモデムと呼びます。シリアルポートを使う通常のモデムとは異なり、パソコンとはイーサネットを通じて接続します。

さ

サブネットマスク

IPアドレスは、ネットワークIDとホストIDによって構成されます。そのネットワークIDとホストIDとを区別するために、サブネットマスクがネットワークIDの長さを判定する役目をします。

ストレートケーブル

通常は、パソコンとイーサネットハブを接続するためのケーブルの種類です。

全二重

独立した送信チャンネルと受信チャンネルを用意し、送信と受信を同時に行えるようにした通信方式のことです。「フルデュプレックス」とも言います。

た

ダイナミックDNS (Dynamic Domain Name System)

DNS(Domain Name System)サーバー情報を自動的に書き替え、情報の差分だけをDNSサーバー間で転送できるようにした技術です。これによりDNSサーバーの情報更新に必要なデータ転送量を減らせ、ネットワークのオーバーヘッドを少なくできます。

ダウンロード

遠隔地にある装置側からネットワークを使用し、データを自分側に転送し保存する作業です。

用語解説

- デフォルトゲートウェイ** 内部ネットワークから外部のパソコンへアクセスするために使用する窓口となるルーターなどの機器を意味します。送信先のIPアドレスに特定のゲートウェイを指定していない場合に、デフォルトゲートウェイにデータが送信されます。
- 動的グローバルアドレス** 動的グローバルアドレスとは、動的に割り振られたグローバルアドレスを意味します。
- ドメイン** インターネットやイントラネットのネットワークで、サーバーを中心としたネットワークを構成するまとまりを表します。
- トランスポートモード** 端末同士の間でIPsec通信するためのモードです。
- トンネルモード** VPNルーター同士の間でIPsec通信するためのモードです。

な

- ネットマスク** 「サブネットマスク」を参照してください。
- ネットワーク** 情報交換のためにコンピューターなどの各種装置、機器などがケーブルや公衆回線、無線などを介して接続されていることです。

は

- 半二重** 1つの通信チャンネルを使用して、送信と受信を切り替えながら通信する方式のことです。「ハーフデュプレックス」とも言います。
- ピア・ツー・ピア**
(Peer to Peer) ネットワークに接続されたコンピューター同士が対等 (Peer) に通信する方式です。それぞれのコンピューターが、サーバーとクライアントの役割をかねます。
- ファイアウォール** インターネットを利用する際のセキュリティの1つです。インターネットからネットワークへの不法な侵入を防ぐ目的で、インターネットとやり取りできるパソコンを制限したり、利用できるインターネットサービスを制限したりします。

用語解説

ファームウェア

本製品を動作させるプログラムです。本製品ではフラッシュメモリーの中に格納されています。

プライベートアドレス (Private address)

主に組織内のLANなど、ネットワークに接続されたときに割り振られたIPアドレスです。プライベートアドレスは申請を行わなくても組織内で自由に割り振ることが可能です。ただし、プライベートアドレスだけでは、インターネット通信ができないためグローバルアドレスを割り振られたルーターなどの機器で中継する必要があります。

クラス	サブネットマスク	プライベートアドレス (この範囲のアドレスは組織内で自由に設定できる)
クラスA	255. 0. 0. 0	10. 0. 0. 1 ~ 10. 255. 255. 254
クラスB	255. 255. 0. 0	172. 16. 0. 1 ~ 172. 31. 255. 254
クラスC	255. 255. 255. 0	192. 168. 0. 1 ~ 192. 168. 255. 254

フレームレート

表示や動画の再生において、単位時間に何回画面を書き替えることができるかを表す指標です。

プロキシサーバー

組織内のネットワークとインターネットとの境界で、内部ネットワークの「代理(プロキシ)」として、インターネットとの接続を行うコンピューターやソフトウェアを意味します。内部ネットワークからの特定接続の許可や、外部ネットワークからの不正なアクセスの遮断を行います。回線の負荷を軽減するために、読み込んだファイルを一定時間保存しておくキャッシュ機能をもつプロキシサーバーもあります。

プロトコル (Protocol)

さまざまな情報を種類の異なる複数のコンピューターなどでデータを交換する際の通信規約(約束事)のことです。インターネットでは「TCP/IP」というプロトコルが基盤になっており、そのうえでさらに「http」や「ftp」などの用途別のプロトコルに従って、情報の送受信が行われています。

ポート番号

TCPやUDPで、サービス(アプリケーションの種類)を区別するために使われる番号です。たとえば、EメールのSMTPは25、HTTPは80が一般的に用いられます。

用語解説

ホワイトバランス

被写体の白色部分を基準にして、全体の色調を合わせる機能を意味します。白色を再現できれば、撮影する場所の光の種類によって自然な色合いを再現できます。

ら

ルーター

(Router)

異なるネットワーク同士を相互接続するネットワーク機器です。異なるネットワーク間の中継点に設置して、ネットワークを介して送信されるデータをきちんと目的の場所に届ける役目をもっています。ネットワーク内を流れてきたデータが外部のネットワークへあてであれば、ルーターはそのデータを外部に送り出し、ルーターはそのときにどういう経路でデータを配信するかまで判断し、最適なルートに送りだしています。

使用できる半角文字について

半角英数字、記号		
スペース	@	`
!	A	a
"	B	b
#	C	c
\$	D	d
%	E	e
&	F	f
'	G	g
(H	h
)	I	i
*	J	j
+	K	k
,	L	l
-	M	m
.	N	n
/	O	o
0	P	p
1	Q	q
2	R	r
3	S	s
4	T	t
5	U	u
6	V	v
7	W	w
8	X	x
9	Y	y
:	Z	z
;	[{
<	¥	
=]	}
>	^	~
?	_	

ファイルサイズと一時保存枚数について

カメラ画像のファイルサイズとカメラ内部のメモリーに一時保存できる枚数との関係を表にしています。設定の参考にしてください。



ファイルサイズについては、最大値で記載しています。

解像度	項目	スナップショット	画質優先	標準	動き優先	携帯電話用
640×480 (ドット)	ファイルサイズ	約60 KB	約50 KB	約33 KB	約20 KB	
	一時保存枚数		約40枚	約60枚	約100枚	
320×240 (ドット)	ファイルサイズ	約30 KB	約25 KB	約16 KB	約8 KB	約8 KB
	一時保存枚数		約80枚	約125枚	約250枚	約250枚
160×120 (ドット)	ファイルサイズ	約10 KB	約7 KB	約5 KB	約3 KB	約3 KB
	一時保存枚数		約290枚	約400枚	約675枚	約675枚

※ 一時保存枚数は、被写体により変わります。

一時保存／転送の最大保存枚数について

動作条件設定で、タイマー、アラーム、動作検知を「有効」に設定しているときは、その設定数[最大5つ]分に内部メモリーの容量が分割されます。

例) 320×240ドットの解像度、画質を標準にした場合、内部メモリーに約125枚保存できます。動作条件設定で、タイマー、アラーム、動作検知をそれぞれ1つずつ有効にした場合、設定数が3となり、内部メモリーが3分割されます。その結果、各動作条件設定において内部メモリーに保存できる枚数はそれぞれ約40枚となります。

SDメモリーカードへの録画枚数について

本製品は、松下電器産業（株）製のSDメモリーカード（2 GB、1 GB、512 MB、256 MB、128 MB、64 MB）に対応しています。

（単位：枚）

対応するSD メモリーカード （品番）	解像度／画質								
	640×480ドット			320×240ドット			160×120ドット		
	画質 優先	標準	動き 優先	画質 優先	標準	動き 優先	画質 優先	標準	動き 優先
2 GB (RP-SDK02G)	約 35,000	約 55,000	約 90,000	約 70,000	約 115,000	約 230,000	約 260,000	約 370,000	約 620,000
1 GB (RP-SDK01G)	約 18,000	約 28,000	約 47,000	約 37,000	約 58,000	約 110,000	約 130,000	約 180,000	約 300,000
512 MB (RP-SDK512)	約 9,000	約 14,000	約 23,000	約 18,000	約 29,000	約 58,000	約 67,000	約 94,000	約 157,000
256 MB (RP-SDH256)	約 4,000	約 7,000	約 11,000	約 9,000	約 14,000	約 29,000	約 33,000	約 47,000	約 78,000
128 MB (RP-SD128B)	約 2,000	約 3,000	約 5,000	約 4,000	約 7,000	約 14,000	約 16,000	約 23,000	約 39,000
64 MB (RP-SD064B)	約 1,000	約 1,000	約 2,000	約 2,000	約 3,000	約 7,000	約 8,000	約 11,000	約 19,000

仕様

ネットワークカメラ

項目	仕様
ズーム	12段階42倍ズーム (21倍光学ズーム、2倍デジタルズーム)
パン・チルト角度	パン：-175°～+175° チルト：-120°～0°（卓上）、0°～+90°（天井）
撮像素子	1/4インチ 38万画素 CCDセンサー（インターレース方式）
対応照度	3～100,000ルクス (カラーナイトビューモード時：0.09～100,000ルクス)
ホワイトバランス	オート／マニュアル／ホールド
明るさ	9段階
焦点	オート／マニュアル（40段階）
最短被写体距離	ワイド：5 mm、テレ：1 m
レンズ F No.	ワイド：F1.6～テレ：F3.6
水平画角	テレ：2.6°（光学）／1.3°（デジタル）～ワイド：51°
露光制御	オート

その他の仕様

項目	仕様
画像圧縮方式	JPEG (3レベル)
画像解像度	640×480ドット、320×240ドット（工場出荷値）、 160×120ドット
一時保存画像 ^{※1}	時刻表示つきで約125枚（320×240ドット、画質標準） （SDメモリーカード未装着時）
音声方向	半二重双方向（トランシーバー方式）
音声帯域	300 Hz～3.4 KHz
音声再生方式	ActiveXでの再生
受信時エンコード方式	ActiveXでのエンコード

※1 一時保存画像の枚数は、被写体により変わります。

仕様

その他の仕様

項目	仕様
音声入力※2	外部マイク（別売、φ3.5 mmミニジャック）
音声出力※2	φ3.5 mmステレオミニジャック（出力はモノラル）、 ラインレベル
ビデオ出力※2	アナログコンポジット（NTSC）
画像更新速度 （フレームレート）※3	最大12枚／秒（640×480ドット） 最大30枚／秒（320×240ドット、160×120ドット）
サポートプロトコル	IPv4／IPv6デュアルスタック IPv4：TCP、UDP、IP、HTTP、FTP、SMTP、 DHCP、DNS、ARP、ICMP、POP3、NTP、 IPsec、UPnP™ IPv6：TCP、UDP、IP、HTTP、FTP、SMTP、 DNS、ICMPv6、POP3、NDP、NTP、 IPsec
IPsec機能	ESP暗号、ESP認証 トランスポートモード／トンネルモード IKE (Internet Key Exchange)
IKE	事前共有キー メインモード
暗号アルゴリズム	DES-CBC、3DES-CBC、AES-CBC
認証アルゴリズム	HMAC-MD5、HMAC-SHA-1
画像転送条件	アラーム発生時、タイマー設定：曜日／時／分、動作検知時
画像転送方法	SMTP※4／FTP
インターフェース	10／100Base-T(X) イーサネット×1ポート コネクタ形状：8ピンモジュラー（RJ-45）
インジケータ	電源表示用（ネットワークのリンクと動作表示用）
I/Oコネクタ	入力2系統、出力1系統

※2 外部マイク、外部スピーカー、テレビに接続する場合、付属の映像／音声コードを使用してください。

※3 ネットワーク環境やパソコンの性能によっては、画質が動き優先のとき、SDメモリーカードへ録画しているとき、IPsecを使用しているとき、カラーナイトビューモードに設定しているときなどに、画像更新速度（フレームレート）が遅くなる場合があります。

※4 POP before SMTP認証、SMTP認証（PLAIN、LOGIN）に対応しています。SMTP認証（PLAIN、LOGIN以外）には対応していません。

仕様

その他の仕様

項目	仕様
SDカードスロット	Fullサイズ
外形寸法 (高さ、幅、奥行)	約140 mm × 約123 mm × 約123 mm (本体のみ、突起部含まず)
質量	■ BB-HCM381 : 約640 g (本体のみ) ■ BB-HCE481 : 約650 g (本体のみ)
電源	■ BB-HCM381 : 専用ACアダプター (品番 PSLP1242) 入力: AC 100 V、50/60 Hz 出力: DC 12 V、1.0 A 消費電力 (カメラ本体接続時) 待機状態 約7 W 最大 (パンスキャン時) 約12 W ■ BB-HCE481 : PoE給電 (PoE対応規格 IEEE802.3af-2003) 消費電力 (カメラ本体接続時) 待機状態 約7 W 最大 (パンスキャン時) 約11 W
取付角度	水平に対して±15°
動作温度	動作時: 0℃～+40℃ 保存時: 0℃～+50℃
動作湿度	動作時: 20%～80% (ただし、結露なきこと) 保存時: 20%～90% (ただし、結露なきこと)

修理・お取り扱い・お手入れ

などのご相談は…

まず、お買い上げの販売店へ

お申し付けください

■保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

■補修用性能部品の保有期間

当社は、このネットワークカメラの補修用性能部品の、製造打ち切り後7年保有しています。

注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼される時

CD-ROM内の「困ったときには」の2～23ページの表に従ってご確認のあと、直らないときはまずACコードのプラグおよびACアダプター(BB-HCM381の場合)、または、電源を供給しているイーサネットケーブル(BB-HCE481の場合)を抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

●保証期間中は

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、恐れ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

●保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。下記修理料金の仕組みをご参照のうえ、ご相談ください。

●修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料 は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご連絡いただきたい内容

製品名	ネットワークカメラ
品番	BB-HCM381 BB-HCE481
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に

お願い

●停電などの外部要因により生じたデータの損失ならびに、その他直接、間接の損害につきましては、当社は責任を負えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。

本製品は日本国内用です。国外での使用に対するサービスはいたしかねます。

ご相談窓口における個人情報のお取り扱い

松下電器産業株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

「よくあるご質問」、「メールでのお問い合わせ」などはサポートウェブサイト (<http://panasonic.biz/netsys/netwcam/support/>) をご活用ください。

アフターサービスなどについて、おわかりにならないとき

お買い上げの販売店または「ネットワークカメラ カスタマコンタクトセンター」にお問い合わせください。

ネットワークカメラ カスタマコンタクトセンター

電話 **03-3491-9797** (通話料金有料)

FAX **03-3491-9016** (通話料金有料)

営業時間 9:00 ~ 17:30 (土・日・祝日除く)

■ ネットワークカメラに関する詳しい情報については

パナソニックのサポートウェブサイト

(<http://panasonic.biz/netsys/netwcam/support/>)を参照してください。

さくいん

英 字

	ページ
CLEAR SETTINGボタン	162
IPsec	55、58、61
IPv4	45
IPv6	50
Motion JPEG	182
PoE	182
PoE給電ハブ	182
SDメモリーカード	135、183
UPnP™	65

あ

明るさ	23
アラーム転送	103
アラームポジション	29
アラームログ	132、150
一時保存画像	37
一時保存／転送	93、103、115
一般ユーザー	89
インジケーター	148
お手入れ	168
音声	82

か

解像度	23、140
外部出力	147
画質	23、140
画像表示	140
カメラ設定	77
管理者	84
クリック&センタリング機能	21
公開時間	145
工場出荷値	157、163~167

さ

	ページ
最短焦点距離	77
再起動	151
再生	37
サポート情報	159
終端表示	23
シングル画面	17
垂直解像度	77
ズーム	25
ステータス	149
スナップショット	22
静止画	22、140
静止画の保存方法	22
製品情報	158
セキュリティ設定	84
接続者情報	150
設定画面	43
設定値保存	155
設定値復元	156
操作バー	23

た

ダイナミックDNS	68
タイマー転送	93
チルトスキャン	23
チルト範囲	24、77、81
電源周波数	77
動作検知	115、129
時計	75
トップ画面	14

さくいん

な

	ページ
認証設定.....	84
ネットワーク (IPv4).....	45
ネットワーク (IPv6).....	50

は

バージョンアップ.....	152
パンスキャン.....	23
パン/チルト.....	23、24、77、81
パン範囲.....	24、77、81
ファームウェアの入手方法.....	152
フォーカス.....	27
プリセット機能.....	23、30～32
ヘルプ.....	158
ホームポジション.....	29
ホワイトバランス.....	77

ま

マルチ画面.....	35、143
みえますねっと.....	68

や

ユーザー指定ダイナミックDNS.....	72
用語解説.....	180～188

ら

レンズ.....	168
ログイン.....	88



- 本製品は、外国為替および外国貿易法に定める規制対象貨物（または技術）に該当します。本製品を日本国外へ持ち出す場合は、同法に基づく輸出許可など必要な手続きをお取りください。

This product is a Restricted Product (or contains a Restricted Technology) subject to the Japanese Foreign Exchange and Foreign Trade Law. In case that it is exported or brought out from Japan, you are required to take the necessary procedures, such as obtaining an export license from the Japanese government, in accordance with the Law.

- 本製品は日本国内用です。国外での使用に対するサービスはいたしかねます。

This product is designed for use in Japan.

Panasonic cannot provide service for this product if used outside Japan.

愛情点検		長年ご使用のネットワークカメラの点検を!	
	<p>こんな症状はありませんか?</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● ACアダプター (BB-HCM381のみ)のコードが傷んでいる。 ● こげくさい臭いや異常な音がする。 ● 内部に水や異物が入った。 ● その他の異常や故障がある。 	<p>このような症状のときは、使用を中止し、故障や事故防止のため、コンセントからACコード(BB-HCM381の場合)、または、電源を供給しているイーサネットケーブル(BB-HCE481の場合)を抜いて、必ず販売店に点検を依頼してください。</p>
			

便利メモ (おぼえのため、記入されると便利です)

お買い上げ日	年 月 日	品 番	BB-HCM381 BB-HCE481
販売店名	電話 () —		

パナソニック コミュニケーションズ株式会社 ホームネットワークカンパニー

〒812-8531 福岡市博多区美野島4丁目1番62号

© 2006 Panasonic Communications Co., Ltd. All Rights Reserved.

PQQX15031ZA KK1105YR0